

# 健康福祉学科教育課程

(令和5年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義演習実習の別	単位数		担当教員名 ( )内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な科目										備考			
						1 学 年		2 学 年		介護職員初任者研修	介護福祉士受験	アクティビティ ワーカビリティ	運動トレーナー 介護予防	ウオーキング トレイラー	初級・中級 指導員	日商PC検定	マイケア ケアラー	介護福祉士 実務者	介護福祉士 経営士		社会福祉士 編入	社会福祉士 任用	
						前	後	前	後														
						必	選	必	選														
健康	健康福祉論	講	1		小 椋	1																8回	
	運動と健康	講	1		小 椋	1																8回	
	健康スポーツ	演	1		小 椋	2																	
	アクティビティ概論	講		2	小 椋																		
人間と社会	人間の尊厳と自立	講		2	吉牟田																		
	現代社会と人間Ⅰ	講		1	担当教員	1																8回	
	現代社会と人間Ⅱ	講		1	担当教員	1																8回	
	コミュニケーション論	講		2	小 平	2																	
	チームマネジメントの基礎	講		2	小 平			2															
	人間と情報	講		2	春 名	2																	
	情報処理演習Ⅰ	演		1	吉牟田	2																	
	情報処理演習Ⅱ	演		1	吉牟田			2															
	ボランティア演習	演		1	関			2															
外国語	英語	演		1	山西(ホズリー)	2																	
	キャンパス&ホームステイプログラム	演		2	望 月				2														
小 計			12	10		14	2	4	2	0	2	0	4										
専門科目分野	介護福祉	介護福祉論Ⅰ	講	2	奥 野	2																	
		介護福祉論Ⅱ	講	2	関			2															
		チームワークと多職種連携	講		2	井 上				2													
		感染症予防とリスクマネジメント	講		2	(谷)					2												
		介護従事者の安全	講		2	(谷)				2													
		介護予防論	講		2	小 椋				2													
		コミュニケーション技術Ⅰ	演		1	関	2																
		コミュニケーション技術Ⅱ	演		1	(定塚・山崎)	2																
		生活支援技術Ⅰ	演		2	井 上	4																
		生活支援技術Ⅱ	演		2	井 上			4														
		生活支援技術Ⅲ	演		2	中島・(松島)				4													
		生活支援技術Ⅳ	実		1	(大掛)・(川端)			3														
		生活支援技術Ⅴ	実		1	奥 野				3													
		生活支援技術Ⅵ	演		1	中島・奥野					2												
		介護過程Ⅰ	演		1	井 上	2																
		介護過程Ⅱ	演		1	井 上			2														
		介護過程Ⅲ	演		2	奥 野				4													
		介護過程Ⅳ	演		1	奥 野					2												
		実習指導Ⅰ	演		1	井上・中島・関・小椋・奥野	2																
		実習指導Ⅱ	演		1	井上・中島・関・小椋・奥野			2														
		実習指導Ⅲ	演		1	奥野・中島・関・小椋・井上				2													
		実習指導Ⅳ	演		1	奥野・中島・関・小椋・井上					2												
		基礎実習Ⅰ-1	実		1	井上・中島・関・小椋・奥野	*																
基礎実習Ⅰ-2	実		1	井上・中島・関・小椋・奥野			*																
介護計画実習	実		3	井上・中島・関・小椋・奥野			*																
介護過程実習	実		3	奥野・中島・関・小椋・井上				*															
総合実習	実		2	奥野・中島・関・小椋・井上					*														
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅠ	講		2	中島・(白井)	2																	
	こころとからだのしくみⅡ	講		2	(白 井)	2																	
	こころとからだのしくみⅢ	講		2	(白 井)			2															
	こころとからだのしくみⅣ	講		2	(白 井)				2														
	発達と老化の理解Ⅰ	講		2	(谷)	2																	
	発達と老化の理解Ⅱ	講		2	(山 本)			2															
	認知症ケア論Ⅰ	講		2	(林)			2															
	認知症ケア論Ⅱ	講		2	井上・(松島)				2														
	障害者ケア論Ⅰ	講		2	中 島	2																	
	障害者ケア論Ⅱ	講		2	中 島			2															
医療的ケア	医療的ケアⅠ	講		4	中島・松居				4														
	医療的ケアⅡ	演		1	中島・松居					4													

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ( )内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な科目								備考																	
			必 修	選 択		1 学 年		2 学 年		介護福祉士受験 介護職員初任者研修	介護福祉士受 験	アクティビティ ワーク	運動レクリエー ション	介護予防 トレーニング	ウエビケン	初級、ラស់ボ ーン 指導員	日商P C 検 定		メディアカクラー ク	メディアカクラー ク	福祉住環境 コーディネーター	介護福祉士 経営士	社会福祉士 編入	社会福祉士 主任任用											
						前 期	後 期	前 期	後 期																										
専 門 科 目	人間と社会 ソーシャルワーク分野	社会 保障 論	講	2	小平	2										○																			
		高 齡 者 福 祉 論	講	2	関					2							○								○										
		障 害 者 福 祉 論	講	2	関					2							○								○										
		兒 童 家 庭 福 祉 論	講	2	明柴					2							○								○										
	ソーシャルワーク	地 域 福 祉 論 I	講	2	関					2														○											
		地 域 福 祉 論 II	講	2	関					2														○											
		ソーシャルワークの理論と方法-1	講	2	(村 上)					2														○									科目履修		
		ソーシャルワークの理論と方法-2	講	2	(村 上)					2														○									科目履修		
	福祉ビジネス分野	福 祉 ビ ジ ネ ス	講	1	小平														○					◎	※福祉ビジネス分野 選択者は 全て履修すること							8 回			
		介 護 事 務 概 論	講	1	小平					1									○					◎									8 回		
		介 護 事 務 演 習	演	1	(松 島)					2									○																
		医 療 事 務 概 論	講	1	小平						1									○				◎										8 回	
		医 療 事 務 演 習	演	1	(小 野)						2									○															
		介 護 福 祉 経 営 論	講	2	小平																			◎											
		医 療 ・ 福 祉 と ICT	講	2	吉 牟 田														○	○															
		富山型福祉特別講義	講	1	小 平						1									○															8 回
インタースhip	演	1	小平・吉牟田						*									○																	
キャリア支援	介護福祉総合演習	演	1	吉牟田・専任全員												○																			
	キャリアデザイン演習	演	1	小 平	2																														
総合支援	総合的研究	演	2	吉牟田・専任全員				2	2																										
小 計			37	61		26	0	15	11	6	28	2	30																						
計			49	71		40	2	19	13	6	30	2	34																						

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W111-10				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の生活支援や家族の相談援助などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護福祉論					
関連科目	障害者福祉論、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護職が活躍する介護サービスなどを俯瞰し、介護福祉士を取巻く状況と歴史を紐解き、介護福祉の基本となる尊厳と自立について学習します。介護福祉士の役割と専門性、職業倫理、安全の確保など専門職のあるべき姿を、テキストや資料を用いて説明します。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護職がかかわる多様なサービスを理解することができる。</li> <li>2. 介護福祉士を取り巻く状況から介護問題の背景について説明できる。</li> <li>3. 「尊厳を支える介護」や「自立に向けた介護」について、具現化できる。</li> <li>4. 専門職としての役割や職業倫理など、理解することができる。</li> </ol>								
キーワード	介護の社会化、介護福祉士、介護サービス、尊厳の保持、自立支援、健康管理								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会編 新・介護福祉士養成講座3「介護の基本」中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会編 新・介護福祉士養成講座3「介護の基本」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	わが国の介護福祉の歴史や関連する法律、および社会福祉士及び介護福祉士法制定の背景や介護の定義、義務規定など、介護福祉士を取り巻く状況に関する知識を有する。また、尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理								
LO-2	介護従事者としての人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技能を有する								
LO-3	介護福祉の基本となる理念の理解と、介護福祉の専門性と倫理の理解を基盤にした思考力・判断力・表現力を備える。								
LO-4	介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援等への関心・意欲等を有する。								
LO-5	介護福祉士としての倫理に基づき、尊厳の保持や自立支援を尊重できる人間性・社会性を備える。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		20						100
LO-1	60								60
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4			10						10
LO-5			10						10
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	職務の理解 介護職の魅力と多様なサービスの理解	
	【予習】介護職のイメージを考えてくる。	90分
	【復習】介護保険サービスの種類についてまとめる	90分
第2回	職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解(1) 介護保険サービスなど	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2~31を読んでくる	90分
	【復習】本日授業で説明した介護サービスの内容をまとめる	90分
第3回	職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解(2) 介護保険サービスなど	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2~31を読んでくる	90分
	【復習】本日授業で説明した介護サービスの内容をまとめる	90分
第4回	職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解(3) 障がい者福祉サービスと地域における障がい者のスポーツ、余暇活動の取組みや推進状況などを理解	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2~31を読んでくる	90分
	【復習】本日授業で説明した障がい者福祉サービスの内容をまとめる	90分
第5回	介護福祉の基本となる理念 介護福祉を取り巻く状況	
	【予習】介護の基本 テキストP2~19を読んでくる。	90分
	【復習】介護福祉を取り巻く状況の変化について整理する。	90分
第6回	介護福祉の基本となる理念 介護福祉の歴史	
	【予習】介護の基本 テキストp21~51を読んでくる	90分
	【復習】本日の授業で解説した内容をまとめる。	90分
第7回	介護福祉の基本となる理念 介護福祉の歴史	
	【予習】これから起こりうる介護問題を考えてくる。	90分
	【復習】本日の授業で解説した内容をまとめる。	90分
第8回	人権と尊厳を支える介護 人権と尊厳の保持、ICF	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp44~67を読んでくる	90分
	【復習】尊厳の意味とその内容をまとめる。	90分
第9回	人権と尊厳を支える介護 QOL,ノーマライゼーション、虐待防止など	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp44~67を読んでくる	90分
	【復習】ノーマライゼーションの意味と内容をまとめる。	90分
第10回	自立に向けた介護 自立支援	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp68~75を読んでくる	90分
	【復習】自立支援のポイントをまとめる。	90分

第11回	自立に向けた介護 介護予防	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp76～79を読んでくる	90分
	【復習】介護予防の視点をまとめる。	90分
第12回	介護の基本 介護職の役割、専門性と多職種連携	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp84～101を読んでくる	90分
	【復習】介護の専門性と介護環境の特徴について理解を深める	90分
第13回	介護の基本 介護職の職業倫理	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp102～105を読んでくる	90分
	【復習】介護職が守るべき行動倫理をまとめる。	90分
第14回	介護の基本 介護における安全の確保とリスクマネジメント 安全の確保、リスクマネジメント	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp106～117を読んでくる	90分
	【復習】リスクマネジメントの必要性と起こりうる弊害をまとめる。	90分
第15回	介護の基本 介護従事者の安全 介護従事者を守る団体と法制度、環境の整備、心身の健康管理	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp118～129を読んでくる	90分
	【復習】1回目から15回目まで復習をする	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護福祉関連法や尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理論に関する知識を十分有する。	介護福祉関連法や尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理論に関する知識を有する。	介護福祉関連法や尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理論に関する知識をある程度有する。	介護福祉関連法や尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理論に関する知識を多少有する。	介護福祉関連法や尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理論に関する知識がない。
LO-2	介護従事者としての人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技能を十分有している	介護従事者としての人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技能を有している	介護従事者としての人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技能をあまり有している	介護従事者としての人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な知識をあまり有していない	介護従事者としての人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技能を有していない
LO-3	介護福祉の基本となる理念の理解と、介護福祉の専門性と倫理の理解を基盤にした思考力・判断力・表現力を十分有する。	介護福祉の基本となる理念の理解と、介護福祉の専門性と倫理の理解を基盤にした思考力・判断力・表現力を有する	介護福祉の基本となる理念の理解と、介護福祉の専門性と倫理の理解を基盤にした思考力・判断力・表現力を多少有する。	介護福祉の基本となる理念の理解と、介護福祉の専門性と倫理の理解を基盤にした思考力・判断力・表現力が不十分である。	介護福祉の基本となる理念の理解と、介護福祉の専門性と倫理の理解を基盤にした思考力・判断力・表現力がない。
LO-4	介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援等への関心・意欲等を十分有する。	介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援等への関心・意欲等を有する。	介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援等への関心・意欲等をある程度有する。	介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援等への関心・意欲等を多少有する。	介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援等への関心・意欲等がない。
LO-5	介護福祉士としての倫理に基づき、尊厳の保持や自立支援を尊重できる人間性・社会性を十分に備えている。	介護福祉士としての倫理に基づき、尊厳の保持や自立支援を尊重できる人間性・社会性を備えている。	介護福祉士としての倫理に基づき、尊厳の保持や自立支援を尊重できる人間性・社会性をある程度備えている。	介護福祉士としての倫理に基づき、尊厳の保持や自立支援を尊重できる人間性・社会性を多少備えている。	介護福祉士としての倫理に基づき、尊厳の保持や自立支援を尊重できる人間性・社会性がない。

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W111-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論		後継科目	介護従事者の安全、チームワークと多職種連携、感染予防とリスクマネジメント					
関連科目	介護予防論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護を必要とする人を理解し、専門職としての倫理、介護保険制度とケアマネジメント、安全の確保とリスクマネジメント、障害者福祉制度について知識と理解を深める。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険制度の概略を説明できる。</li> <li>2. 介護従事者の倫理と安全について概説できる。</li> <li>3. 介護が必要な人を支える仕組みについて概説できる。</li> </ol>								
キーワード	生活を支えるしくみ、介護従事者の倫理、安全の確保、リスクマネジメント、個人の権利								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 3 「介護の基本」中央法規出版 最新 介護福祉士養成講座 4 「介護の基本」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護保険制度の概略、介護サービス提供の場の特徴、介護従事者の倫理、障害者福祉に関する基本的知識を有する。								
LO-2	学修の成果をレポートにまとめる力を有する。								
LO-3	「介護従事者の倫理」の概念を提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	新聞やTVなどを通して介護保険サービスに関する最新情報を自ら入手することにより、介護福祉への意欲や関心を有する。								
LO-5	介護を必要とする人を理解し、制度の概要がわかり、個人の権利を尊重する力を有する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護を必要とする人の理解 生活の個性と多様性、高齢者の生活	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】私たちの生活を構成する重要な要素と特性について理解する。 介護福祉を必要とする高齢者の暮らしの背景を探る。	90分
第2回	介護を必要とする人の理解 その人らしさと生活ニーズの理解、生活のしづらさの理解とその支援	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】「自分らしさ」とは何か、具体的に考えてみる。	90分
第3回	介護福祉を必要とする人たちの暮らし	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護福祉を必要とする人たちの多様性を整理しておく。	90分
第4回	人権と尊厳を支える介護 個人の尊厳を守る制度の概要2(1)	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護職が持つべき職業倫理と、日本介護福祉士会倫理綱領を参考に、介護専門職に関わる倫理を理解する	90分
第5回	人権と尊厳を支える介護 個人の尊厳を守る制度の概要	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】普遍的倫理判断の4つの視点について理解を深める	90分
第6回	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 介護保険制度の目的・動向 4(1)	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】要介護者へのフォーマルな制度について整理しておく。	90分
第7回	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 介護保険制度の仕組みの理解4(1)	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護保険制度の仕組みをノートにまとめる	90分
第8回	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 制度を支える財源・組織・団体の昨日と役割4(1)	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】関係する組織や団体に関して整理しておく。	90分
第9回	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ インフォーマルサービスと地域連携	
	【予習】テキスト「介護初任者研修テキスト1」P136～P150まで読む	90分
	【復習】介護保険制度の背景を理解し、基本理念を概説できる	90分
第10回	協働する多職種役割と機能 多職種連携・協働の必要性	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】多職種連携の意義をまとめておく	90分

第11回	協働する多職種役割と機能 医療の連携とリハビリテーション4(2)	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】多職種連携の実際についてまとめておく	90分
第12回	介護を必要とする人を支えるしくみ 障害者福祉制度の理念・仕組みの基礎的理解4(3)	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】障害者福祉制度についてノートにまとめておく	90分
第13回	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 個人の権利を守る制度の概要 4(3)	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】人権擁護に関わる制度を整理しておく	90分
第14回	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 個人の権利を守る制度の概要	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】関連する法律や制度概要についてまとめておく	90分
第15回	全体のまとめ	
	【予習】これまで学習してきた内容でわからない箇所、理解不足の箇所を把握すること。	90分
	【復習】これまで学習してきた内容をすべて復習し、ノートを見直す。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護保険制度の概略、介護サービス提供の場の特徴、障害者福祉に関する基本的知識を十分有する。	介護保険制度の概略、介護サービス提供の場の特徴、障害者福祉に関する基本的知識を有する。	介護保険制度の概略、介護サービス提供の場の特徴、障害者福祉に関する基本的知識をある程度有する。	介護保険制度の概略、介護サービス提供の場の特徴、障害者福祉に関する基本的知識を多少有する。	介護保険制度の概略、介護サービス提供の場の特徴、障害者福祉に関する基本的知識がない。
LO-2	学修の成果をレポートにまとめる力を十分有する。	学修の成果をレポートにまとめる力を有する。	学修の成果をレポートにまとめる力をある程度有する。	学修の成果をレポートにまとめる力がやや十分ではない。	学修の成果をレポートにまとめる力が十分ではない。
LO-3	「介護従事者の倫理」の概念を提示された事例に活用する判断力を十分有する。	「介護従事者の倫理」の概念を提示された事例に活用する判断力を有する。	「介護従事者の倫理」の概念を提示された事例に活用する判断力をある程度有する。	「介護従事者の倫理」の概念を提示された事例に活用する判断力を多少有する。	「介護従事者の倫理」の概念を提示された事例に活用する判断力がない。
LO-4	介護保険サービスに関する最新情報を自ら入手することにより、介護福祉への意欲や関心を十分有する。	介護保険サービスに関する最新情報を自ら入手することにより、介護福祉への意欲や関心を有する。	介護保険サービスに関する最新情報を自ら入手することにより、介護福祉への意欲や関心をある程度有する。	介護保険サービスに関する最新情報を自ら入手することにより、介護福祉への意欲や関心を多少有する。	介護保険サービスに関する最新情報を自ら入手することにより、介護福祉への意欲や関心が不足している
LO-5	介護を必要とする人を理解し、尊厳を大切に、自立支援や倫理的配慮ができる力を十分有する	介護を必要とする人を理解し、尊厳を大切に、自立支援や倫理的配慮ができる力を有する	介護を必要とする人を理解し、尊厳を大切に、自立支援や倫理的配慮ができる力をある程度有する	介護を必要とする人を理解し、尊厳を大切に、自立支援や倫理的配慮ができる力をある程度有する	介護を必要とする人を理解し、尊厳を大切に、自立支援や倫理的配慮ができる力が不足している



授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-20				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を生かして、介護福祉士として必要な知識と技術を指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	生活支援技術					
関連科目	こころとからだのしくみ .								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 介護職員初任者研修								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデルや実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜小テストを行い、技術や知識を確認していきます。								
学習目標	1.生活支援の目的・方針を理解する 2.介護の必要性や根拠を考え、理解することができる 3.「住環境の整備」「移動」「身じたく」「食事」「排泄」の意義・目的を理解し、自立に向けた基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	生活支援技術、移動・移乗、身じたく、食事、排泄								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術」中央法規出版 「介護職員初任者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他 A については、実技試験								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活支援の理解 介護の基本的な考え方 理論に基づく介護	
	【予習】テキスト目次を確認する。	90分
	【復習】配布されたプリントを確認する。心地よい環境について考える	90分
第2回	生活支援の理解 介護の基本的な考え方 理論に基づく介護 ICFの視点	
	【予習】生活について考える	90分
	【復習】ICFについて考えたことをまとめる	90分
第3回	介護の基本的な考え方 法的根拠にもとづく介護	
	【予習】テキストを確認する 初任者テキストP7～P9	90分
	【復習】テキスト、資料の復習しておく。	90分
第4回	自立に向けた家事の介護 生活と家事	
	【予習】初任者テキストP66～P91までを読む	90分
	【復習】生活にしづらさがある人が少しでも一人でできる方法を考える	90分
第5回	自立に向けた居住環境の整備 快適な居住環境整備と介護	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える	90分
第6回	自立に向けた身じたくの介護 身体状況に合わせた衣服の選択・着脱	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える	90分
第7回	自立に向けた身じたくの介護 身体状況に合わせた衣服の選択・着脱	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】家事方法についてまとめる	90分
第8回	身じたく、整容行動	
	【予習】整容の方法についてテキストで確認する	90分
	【復習】みだしなみの方法についてまとめる	90分
第9回	自立に向けた身じたくの介護 着る・装うことの意義・目的、被服の機能と個性について学びます。	
	【予習】高齢者の服装について調べる。	90分
	【復習】麻痺のある利用者の着替えの原則とポイントをおさえ、練習しておく。	90分
第10回	自立に向けた身じたくの介護 着脱介助の実際	
	【予習】高齢者のからだの動きを復習しておく。	90分
	【復習】麻痺のある利用者の着替えの原則とポイントをおさえ、練習しておく。	90分

第11回	衣服の着脱と介護の視点	
	【予習】麻痺のある利用者の着替えの原則とポイントをおさえ、練習しておく。	90分
	【復習】テキスト・プリントで復習し、まとめる	90分
第12回	洗面の意義・効果	
	【予習】介護が必要な人が、みじたくを整えることについてどのような意義があるのかを考える	90分
	【復習】テキスト・プリントで復習し、まとめる	90分
第13回	移動・移乗に関する基礎知識	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第14回	自立に向けた移動の介護 基本的な身体動作、ベッド上での寝返り動作等	
	【予習】こころとからだのしくみのテキストを用意し読む。(骨格・筋肉)	90分
	【復習】高齢者のからだの動きを復習しておく。	90分
第15回	自立に向けた移動の介護 起き上がり・立ち上がりから歩行動作介助を学びます。	
	【予習】前回の復習。	90分
	【復習】ベッド上の動作の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第16回	自立に向けた移動の介護 車いすへの移乗・移動動作介助を安全安楽に配慮して学びます。	
	【予習】車いすの名称確認。高齢者の自然な動きの確認。	90分
	【復習】移乗介助の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第17回	自立に向けた移動の介護 車いすへの移乗・移動動作介助を安全安楽に配慮して学びます。	
	【予習】車いすの名称確認。高齢者の自然な動きの確認。	90分
	【復習】移乗介助の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第18回	自立に向けた移動の介護 杖歩行の支援技術、外出支援方法について学びます。	
	【予習】障害者の移動について機器等を調べる。	90分
	【復習】移動介助をまとめ整理しておく。	90分
第19回	自立に向けた移動の介護 杖歩行の支援技術、外出支援方法について学びます。	
	【予習】障害者の移動について機器等を調べる。	90分
	【復習】移動介助をまとめ整理しておく。	90分
第20回	自立に向けた食事の介護 食事の意義・目的、食事介助の実際	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(口腔～消化器官)	90分
	【復習】食べるしくみと、おいしく食べることについて考える。	90分

第21回	自立に向けた食事の介護 座位姿勢での安全な食事介助、福祉用具の活用	
	【予習】介護食について調べる。	90分
	【復習】食事介助をまとめ整理しておく。	90分
第22回	自立に向けた食事の介護 食事の意義・目的、食事介助の実際	
	【予習】こことからだのしくみのテキスト用意し読む。(口腔～消化器官)	90分
	【復習】食べるしくみと、おいしく食べることについて考える。	90分
第23回	自立に向けた食事の介護 座位姿勢での安全な食事介助、福祉用具の活用	
	【予習】介護食について調べる。	90分
	【復習】食事介助をまとめ整理しておく。	90分
第24回	口腔ケア・誤嚥性肺炎の予防	
	【予習】安全に食事をするための工夫についてまとめておく	90分
	【復習】実技をととしての学びをまとめる	90分
第25回	排泄に関する基礎知識	
	【予習】こことからだのしくみのテキスト用意し読む。(尿・便)	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第26回	自立に向けた排泄の介護 排泄の意義・目的、排泄介護の実際・トイレ誘導	
	【予習】こことからだのしくみのテキスト用意し読む。(尿・便)	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第27回	課題事例による演習 前期末実技試験オリエンテーション	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第28回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第29回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第30回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を十分説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性をおおむね説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を一部説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できない。
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が正確に実践できる。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術がおおむね実践できる。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術の実践に努力を要する。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できない。
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から考えることができる。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から一部考えることができる。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から考えることに困難を要する。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から考えることができない。
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことがおおむねできる。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことが一部できる。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことに努力を要する。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができない。
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことが十分できる。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことがおおむねできる。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことに努力を要する。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができない。

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-21				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を生かして、介護福祉士として必要な知識と技術を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目	生活支援技術、生活支援技術					
関連科目	こころとからだのしくみ 実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 介護職員初任者研修								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデル実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜テストを行い、技術や知識を確認していきます。講義やグループワーク・演習をとおしてよりよい支援を考え実践できるように、学習していきます。								
学習目標	1.安全・安楽、プライバシーに配慮し、自立に向けた基本的な介助方法を習得する。2.介護の必要性や支援の根拠を考え、理解することができる。3.「身じたく」「清潔」「排泄」「睡眠」介護の意義・目的を理解し、自立を支援する基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	入浴、清拭、ポータブルトイレ、電法								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術」中央法規出版 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術」中央法規出版 「介護職員初任者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	10		40			50			100
LO-1			10			10			20
LO-2	10					10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他 A については、実技試験								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期学習の振り返り 起居動作・移乗介護	
	【予習】前期の振り返り。配布プリントとテキストを確認する	90分
	【復習】振り返り、介護方法を身につけられるように練習をする	90分
第2回	前期学習の振り返り 衣服着脱介助	
	【予習】前期の振り返り。配布プリントとテキストを確認する	90分
	【復習】振り返り、介護方法を身につけられるように練習をする	90分
第3回	前期学習の振り返り 排泄介護	
	【予習】前期の振り返り。配布プリントとテキストを確認する	90分
	【復習】振り返り、介護方法を身につけられるように練習をする	90分
第4回	自立に向けた排泄の介護、排泄障害と日常生活と便秘予防	
	【予習】テキストを確認しておく	90分
	【復習】介助方法についてまとめる	90分
第5回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴と清潔保持に関連した基礎知識と用具の活用方法	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】プリントをまとめる	90分
第6回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護、全身清拭、部分清拭の意義・目的	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】プリントをまとめる	90分
第7回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 機能低下している人の介助（機械浴）	
	【予習】入浴の物品準備。入浴による身体の変化とリスクについて考える。	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第8回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護、一般浴の介助	
	【予習】入浴の物品準備。入浴による身体の変化とリスクについて考える。	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第9回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護、リフト浴の介助	
	【予習】入浴の物品準備。入浴による身体の変化とリスクについて考える。	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第10回	休息・睡眠の介護 様々な睡眠環境と用具の活用方法	
	【予習】テキストを確認	90分
	【復習】観察の復習	90分

第11回	休息・睡眠の介護、安眠の為の介護の工夫、手浴、足浴の介助	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】安眠についてまとめる	90分
第12回	休息・睡眠の介護、安楽な姿勢と褥瘡予防（シーツ交換と臥床体験）	
	【予習】安楽な姿勢と褥瘡好発部位の確認	90分
	【復習】安楽な姿勢と褥瘡についてまとめる	90分
第13回	自立に向けた排泄の介護 様々な排泄環境整備と用具の活用（ポータブルトイレの介助）	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第14回	自立に向けた排泄の介護 様々な排泄環境整備と用具の活用（陰部洗浄とオムツ交換）	
	【予習】テキストを確認しておく	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第15回	自立に向けた介護 ICFの視点に基づく 課題事例による演習	
	【予習】テキストを確認しておく	90分
	【復習】観察の確認と復習	90分
第16回	自立に向けた介護 課題事例による介護技術の評価	
	【予習】テキストを確認しておく	90分
	【復習】観察の確認と復習	90分
第17回	自立に向けた介護 課題事例による演習	
	【予習】課題事例を復習	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする	90分
第18回	自立に向けた介護 ICFの視点に基づく 課題事例による演習	
	【予習】テキストを確認	90分
	【復習】観察の確認と復習	90分
第19回	自立に向けた介護 課題事例による介護技術の評価	
	【予習】テキストを確認	90分
	【復習】観察の確認と復習	90分
第20回	自立に向けた介護 課題事例による演習（総合生活支援技術演習）	
	【予習】課題事例を復習	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする	90分



第21回	自立に向けた介護 福祉用具を活用した生活支援 移動・移乗	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第22回	自立に向けた介護 福祉用具を活用した生活支援 衣服の着脱	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第23回	自立に向けた介護 福祉用具を活用した生活支援 排泄 まとめ	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】課題事例を練習する	90分
第24回	実技試験	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】課題事例を練習する	90分
第25回	実技試験	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】課題事例を練習する	90分
第26回	実技試験	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】課題事例を練習する	90分
第27回	快適な住環境整備と介護 福祉用具体験	
	【予習】福祉用具について調べる	90分
	【復習】体験した福祉用具についてまとめる	90分
第28回	快適な住環境整備と介護 福祉用具体験	
	【予習】福祉用具について調べる	90分
	【復習】体験した福祉用具についてまとめる。	90分
第29回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護、目・耳・鼻腔・爪の清潔、電法	
	【予習】テキストを確認	90分
	【復習】介助方法、ポイントの確認	90分
第30回	人生の最終段階における介護 終末期における基本的態度と支援、多職種間の情報共有	
	【予習】テキストを確認しておく	90分
	【復習】人生の最終段階における介護についてまとめる	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を十分説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性をおおむね説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を一部説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できない。
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が正確に実践できる。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術がおおむね実践できる。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術の実践に努力を要する。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できない。
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から考えることができる。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から一部考えることができる。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から考えることに困難を要する。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から考えることができない。
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことがおおむねできる。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことが一部できる。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことに努力を要する。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができない。
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことが十分できる。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことがおおむねできる。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことに努力を要する。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができない。

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-23				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	大掛 恵美子 川端 明美 井上 理絵					
実務経験	< 食生活 > 管理栄養士として、病院および併設社会福祉施設において実務経験あり								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術 こころとからだのしくみ		後継科目	生活支援技術					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	生活の理解と生活支援について学習します。居住環境整備と被服管理について学習します。利用者が生活の中で求めている幸せとは何かを的確に捉える力と、個性のある自立・自律や社会参加に向けた生活支援ができるようになることを目指す。自立に向けた家事の介助の技法、家事に参加することを支える介護を学習する。日本の食文化、摂食嚥下機能や疾病と食事の関係についても学習し、健やかな人生を送るための適正な食生活のあり方に関する知識								
学習目標	生活者としての視点で住生活、衣生活についての基本的な知識と技術を理解し身につけることを通して、支援を必要としている人の生活を尊重した支援者になることを目指します。 栄養バランスのとれた食事、高齢者の嗜好に合った食べやすい食事、生活習慣病を予防できる食事等、命をつなぎ、QOLの向上に欠く事のできない食の重要性を認識し、臨機応変に対応できる介護実践力を養うこと。								
キーワード	生活 生活支援 居住環境整備 被服管理								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 第2版」 中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座 7 生活支援技術 第2版」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	<居住環境・被服>衣服管理と居住環境整備に関する知識を習得している <食生活>栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ特性について理解し、正しく答えることができる。								
LO-2	<居住環境・被服>生活支援のための衣生活、住生活の基本的な技術を身につけている <食生活>ニーズを踏まえ、個性に応じた安全でおいしい食事作りができる。								
LO-3	<居住環境・被服>支援を必要としている人のニーズを捉えることができる <食生活>高齢者・障害者の食におけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	<居住環境・被服>生活に関心を持ち、課題解決のための工夫をすることができる <食生活>健康や食について関心を持ち、自分自身も適正な食生活に努めている。								
LO-5	<居住環境・被服>多様な考え方に気づき、生活支援のために協働して行動することができる <食生活>グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	25	5	45	5	10	10			100
LO-1	25	5	10						40
LO-2			5	5		5			15
LO-3			15						15
LO-4			15						15
LO-5					10	5			15
備考	安全に十分配慮し、実施可能なアクティブラーニング(グループワーク、プレゼンテーション、製作実習等)を実施します 実習あり。答案やレポートのフィードバック(解説など)をする。その他：Aは授業時の積極性、質問や授業態度などを総合して評価する								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活の理解と生活支援 住まいの機能と日本住宅の特徴 高齢化と住宅政策	
	【予習】生活やそれを支える家事に関心を持ち、洗濯、掃除、ごみ捨てなどを行ってみる	60分
	【復習】生活者として主体的に洗濯、掃除、ごみ捨てを行う	60分
第2回	住環境アセスメント 居住環境の整備（空間構成、広さ、動線、材質、バリアフリー、住宅改修、福祉用具の活用）	
	【予習】人体寸法をもとに空間の高さ、幅、広さなどをイメージできるようにする 住空間の種類と各生活空間の動作の特徴をまとめる 高齢者の心身の特徴と住居内での事故を考える	60分
	【復習】住居内での事故の予防方法を考える 介護保険制度を利用した住宅改修についてまとめる	60分
第3回	居住環境の整備（空気環境、温熱環境、光環境、音環境、インテリアコーディネート、カラーワーク） 高齢者の住まいの種類とその特徴	
	【予習】空気環境、温熱環境、光環境、音環境と健康との関係を考える 雑誌、広告等からインテリア（色、材質、小物等）を切り抜いておく	60分
	【復習】寝室のインテリアコーディネートボードを完成させる 高齢者の多様な住まいに関する新聞記事を読んでまとめる	60分
第4回	装いへの関心とQOLの関係 被服の機能と被服の素材 手縫いによる小物製作	
	【予習】玉結び、なみ縫い、糸こき、玉止めの仕方をWeb等で調べる	60分
	【復習】自分の衣服の種類と枚数を把握する	60分
第5回	被服の管理（衣服による事故・健康障害とその予防、環境や活動に合わせた着装） 手縫いによる小物製作	
	【予習】衣服による事故・健康障害について体験したことをまとめる まつり縫い、コの字とじの仕方をWeb等で調べる	60分
	【復習】自分の衣服の整理をする	60分
第6回	被服の管理（衣服のサイズ表示、洗濯と保管の方法、修繕） 手縫いによる小物製作	
	【予習】自分の衣服の表示（サイズ、組成、取り扱い）と使用している衣料用洗剤の表示を書き写す 被服の修繕が必要な場合を調べる ボタンつけ、スナップつけの仕方をWeb等で調べる	60分
	【復習】ドラッグストアなどで衣料用の洗剤を観察する 衣料用洗剤メーカーのホームページを調べて気づいたことをまとめる	60分
第7回	高齢者にも配慮したモノ・コト（グループワーク）	
	【予習】高齢者の心身の特徴を踏まえて、公共施設、商業施設の広さ、商品等の配置を観察する 高齢者にも配慮した商品、サービスを考える	60分
	【復習】プレゼンテーションシートを完成させ、プレゼンテーションの練習をする	60分
第8回	高齢者にも配慮したモノ・コト（発表、評価）	
	【予習】プレゼンテーションの練習をする	60分
	【復習】衣生活支援・住生活支援の学習に関連した介護福祉士国家試験問題に取り組む 課題レポートを作成する	60分
第9回	授業のねらい、食事の意義と目的、献立について講義する。	
	【予習】自分の食生活について、献立を数日分書き出すなどして振り返り、食事をする意義・目的について考えてみる。 よく食べる商品の食品表示を確認する。	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる。 自分の食生活について見直しを行い、講義から課題を見出し解決方法を考える。	30分
第10回	身体の機能と栄養素の役割について講義する。 基本の調理技術、食品の加工と保存について講義する。	
	【予習】医学一般のテキストをもとに、身体の機能について復習を行い、要点を確認しておく。 我が家の食事ができるまでの流れを把握する。	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分

第11回	調理実習（1）基本調理法（炊飯、出しのとり方等） / 「日本料理」	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第12回	食事と生活習慣病等の疾病との関係を理解する。	
	【予習】生活習慣病について、関連する病気を調べる。	15分
	【復習】生活習慣病を予防するための食事のポイントをまとめる。	30分
第13回	調理実習（2）生活習慣病予防のための食事を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】今回実習した調理の要点をまとめ、前回の講義内容を振り返りながらまとめる。	30分
第14回	高齢者・障害者の食生活のあり方を理解する。咀嚼・嚥下と食事について理解する。	
	【予習】老化に伴う身体面や心理面からの機能低下の状態や、障害によって生じる食事摂取の不都合さについて把握する。摂食嚥下機能について調べる。	15分
	【復習】高齢者・障害者が安全においしく食べられる調理の手法をまとめる。	30分
第15回	調理実習（3）「介護食」 嚥下調整食を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。 食事介護における配慮・注意点を食前・中・後にわけまとめる。	30分
第16回	調理実習（4）高齢者向けの食事を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	<居住環境・被服> 被服管理、住環境整備に関する知識を十分に習得している。 <食生活> 栄養的にバランスのとれた食生	<居住環境・被服> 被服管理、住環境整備に関する知識を習得している。 <食生活> 栄養的にバランスのとれた食生	<居住環境・被服> 被服管理、住環境整備に関する知識をある程度習得している。 <食生活> 栄養的にバランスのとれた食生	<居住環境・被服> 被服管理、住環境整備に関する知識の習得は不十分である。 <食生活> 栄養的にバランスのとれた食生	<居住環境・被服> 被服管理、住環境整備に関する知識の習得はほとんどできていない。 <食生活>
LO-2	<居住環境・被服> 住生活、衣生活を支援するための必要な技術の基本を十分身につけている。 <食生活>	<居住環境・被服> 住生活、衣生活を支援するための必要な技術の基本を身につけている。 <食生活>	<居住環境・被服> 住生活、衣生活を支援するための必要な技術の基本をある程度身につけている。 <食生活>	<居住環境・被服> 住生活、衣生活を支援するための必要な技術の基本が十分身につけていない。 <食生活>	<居住環境・被服> 住生活、衣生活を支援するための必要な技術の基本が身につけていない。 <食生活>
LO-3	<居住環境・被服> 生活支援のためのニーズを的確に捉えることができる。 <食生活> 健康や食について関心を持ち、	<居住環境・被服> 生活支援のためのニーズを捉えることができる。 <食生活> 健康や食について関心を持ち、	<居住環境・被服> 生活支援のためのニーズをある程度捉えることができる。 <食生活> 健康や食について関心はあるが	<居住環境・被服> 生活支援のためのニーズを捉えるのに時間を要する。 <食生活> 健康や食について関心も薄く、	<居住環境・被服> 生活支援のためのニーズを捉えることができない。 <食生活> 健康や食について関心もなく、
LO-4	<居住環境・被服> その人らしい自立のための生活支援に関心を持ち、課題解決のための工夫を大いにすることができる。	<居住環境・被服> その人らしい自立のための生活支援に関心を持ち、課題解決のための工夫をすることができる。	<居住環境・被服> その人らしい自立のための生活支援に関心は持つが、課題解決のために工夫に時間を要する。 <食生活>	<居住環境・被服> その人らしい自立のための生活支援に関心は持つが、課題解決のための考えが及ばない。 <食生活>	<居住環境・被服> その人らしい自立のための生活支援に関心も持てず、課題を見出せない。 <食生活>
LO-5	<居住環境・被服> 他者の話や行動をよく受容し、積極的に協働して行動することができる。 <食生活>	<居住環境・被服> 他者の話や行動を受容し、協働して行動することができる。 <食生活> グループのメンバーと協調性を	<居住環境・被服> 他者の話や行動を受容できるが、生活支援のために協働して行動することに時間を要する。 <食生活>	<居住環境・被服> 他者に共感することはできるが、協働して行動することができない。 <食生活>	<居住環境・被服> 他者に共感できず、協働して行動することができない。 <食生活> グループのメンバーと協調性を

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W111-30				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護過程					
関連科目	コミュニケーション技術 (手話・点字)								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士指定科目								
授業の概要	人間関係とコミュニケーションで学ぶコミュニケーションの基礎的な知識を基盤に、本人及び家族とのよりよい関係性の構築や障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識・技術を習得する。介護におけるチームのコミュニケーションについて、情報共有の意義、活用、管理などに関する基本知識・技術を習得する。								
学習目標	対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション能力を養う学習とする。								
キーワード	チームのコミュニケーション、障害の特性に応じたコミュニケーション、家族とのコミュニケーション、介護を必要とする人とのコミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 5 コミュニケーション技術								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を理解している。								
LO-2	【技能】様々な場面に必要とされるコミュニケーション技術や、チームケアを構築するためのコミュニケーションの基礎的な技術を備えている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】コミュニケーション技術をとおり、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を備えている。								
LO-4	【関心・意欲・態度】介護実践に必要なコミュニケーション実践に関心と意欲を持ち、専門職としての態度を備えている。								
LO-5	【人間性・社会性】対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための能力を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			30						30
LO-4			10						10
LO-5			10						10
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護におけるコミュニケーションとは	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめてみる。	15分
第2回	、介護におけるコミュニケーションの対象	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	15分
第3回	援助関係とコミュニケーション、	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第4回	コミュニケーション態度に関する基本技術、言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	60分
第5回	言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本、目的別のコミュニケーション技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	15分
第6回	集団におけるコミュニケーション技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	60分
第7回	対象者の特性に応じたコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第8回	会議・議事進行・説明の技術、情報の活用と管理のための技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第9回	事例検討に関する技術、事例検討	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第10回	介護におけるコミュニケーションの基本	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分



第11回	障害の特性に応じたコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第12回	介護におけるチームのコミュニケーション1（記録の技術）	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第13回	介護におけるチームコミュニケーション2（報告・連絡・相談の技術）	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第14回	家族とのコミュニケーション1（家族との関係づくり、家族への助言・指導・調整）（意欲を引き出す）	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第15回	家族とのコミュニケーション2（家族関係と介護ストレスへの対応）（意向を調整する技法ほか）	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を理解している。	対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を一定程度は理解している。	対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を少しは理解している。	対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法をわずかに理解している。	対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法をあまり理解していない。
LO-2	様々な場面に必要とされるコミュニケーション技術や、チームケアを構築するためのコミュニケーションの基礎的な技術を備えている。	様々な場面に必要とされるコミュニケーション技術や、チームケアを構築するためのコミュニケーションの基礎的な技術を一定程度は備えている。	様々な場面に必要とされるコミュニケーション技術や、チームケアを構築するためのコミュニケーションの基礎的な技術を少しは備えている。	様々な場面に必要とされるコミュニケーション技術や、チームケアを構築するためのコミュニケーションの基礎的な技術をわずかに備えている。	様々な場面に必要とされるコミュニケーション技術や、チームケアを構築するためのコミュニケーションの基礎的な技術をあまり備えていない。
LO-3	コミュニケーション技術をおし、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を備えている。	コミュニケーション技術をおし、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を一定程度は備えている。	コミュニケーション技術をおし、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を少しは備えている。	コミュニケーション技術をおし、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力をわずかに備えている。	コミュニケーション技術をおし、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力をあまり備えていない。
LO-4	介護実践に必要なコミュニケーション実践に関心と意欲を持ち、専門職としての態度を備えている。	介護実践に必要なコミュニケーション実践に関心と意欲を持ち、専門職としての態度をある程度備えている。	介護実践に必要なコミュニケーション実践に関心と意欲を持ち、専門職としての態度を少し備えている。	介護実践に必要なコミュニケーション実践に関心と意欲をわずかながら持ち、専門職としての態度はあまり備えていない。	介護実践に必要なコミュニケーション実践に関心と意欲があまりなく、専門職としての態度を備えていない。
LO-5	対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための能力を備えている。	対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための能力を一定程度は備えている。	対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための能力を少しは備えている。	対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための能力をわずかに備えている。	対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための能力をあまり備えていない。

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W111-31				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	定塚 剛成 山崎 清之 小平 達夫					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	障害者ケア論 ・ 生活支援技術 介護実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	1. 聴覚及び言語障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。 2. 視覚障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。								
学習目標	1. 手話 ・基本的な手話技術の習得 ・障害のとらえ方の理解 ・聞こえないことの不便や聴覚障害者のおかれている社会環境、関連制度等の理解								
キーワード	1. 手話 聴覚障害者 点字 視覚障害者 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	1. 「新・手話教室 入門」 - 厚生労働省手話奉仕員養成講座入門課程対応 - 2. 「初めての点訳」 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解) 障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識を理解する。								
LO-2	(技能) 障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的技術が身につく。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力) その場そのとき、相手に応じて求められるコミュニケーションのあり方を考えられる。								
LO-4	(関心・意欲・態度) 手話や点字の習得に意欲と熱意を持ち、障害の理解にも関心を高めることができる。								
LO-5	(人間性・社会性) 手話や点字の技術習得を通して、障害者の暮らしに思いを馳せることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	1.手話 ・テキストをもとに、ほぼ毎回ビデオを使用して学習を進めます ・ネイティブスピーカー(ろう者)に、2回程度参加してもらいます ・必要に応じて、グループ等に分かれて進めます * 授業態度・意欲(25%程度)・節目ごとのレポート(30%程度)・修了試験(45%)								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の概要、点字と墨字、点字の組み立て・特徴、 点字器の種類・扱い方	
	【予習】シラバス確認	45分
	【復習】点字の組み立てを振り返る	45分
第2回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 視覚障害者の状況 点字の歴史	
	【予習】テキストを参照する	45分
	【復習】視覚障害者について、テキストノートから振り返る	45分
第3回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(1) ・点字を書く器具 点字を書く時のポイント	
	【予習】	45分
	【復習】本日学習した点字の書き方、読み方を振り返る	45分
第4回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(2) 点字の標記 ・語の書き表し方(かな使い、数字、アルファベット)	
	【予習】	45分
	【復習】点字の読み方を振り返る	45分
第5回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(3) ・分かち書 (文節分かち書、複合語、固有名詞)	
	【予習】	45分
	【復習】点字の表記について振り返る	45分
第6回	2. 点字	
	【予習】	45分
	【復習】点字の表記について振り返る	45分
第7回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	
	【予習】	45分
	【復習】点字の表記について振り返る 視覚障害者のガイドについてテキスト等で見直す	45分
第8回	2. 点字 まとめ 試験 (点訳 墨訳 作文と点字についての設問)	
	【予習】点字の組み立てから、点字の表記について復習しておく 視覚障害者と点字の歴史、概要をまとめておく	45分
	【復習】	45分
第9回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 聞こえないってどんなことか 言葉を使わないで伝えてみよう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分
第10回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう教育	
	【予習】	45分
	【復習】	45分

第11回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 指文字を覚えよう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分
第12回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人と話そう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分
第13回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう者の生活 家族を紹介しよう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分
第14回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 趣味を表してみよう・誕生日を表してみよう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分
第15回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人と話してみよう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的知識を十分に理解している。	障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的知識を8割以上は理解している	障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的知識を7割以上は理解している	障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的知識を6割以上は理解している	障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的知識の理解が6割に満たない。
LO-2	障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的技術が十分に身につけている。	障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的技術が8割以上身につけている。	障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的技術が7割以上身につけている。	障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的技術が6割以上身につけている。	障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的技術が6割も身につけていない。
LO-3	その場そのとき、相手に応じて求められるコミュニケーションのあり方を十分に考えられる。	その場そのとき、相手に応じて求められるコミュニケーションのあり方を8割以上考えられる。	その場そのとき、相手に応じて求められるコミュニケーションのあり方を7割以上考えられる。	その場そのとき、相手に応じて求められるコミュニケーションのあり方を6割以上考えられる。	その場そのとき、相手に応じて求められるコミュニケーションのあり方を考える力が6割に満たない。
LO-4	手話や点字の習得に意欲と熱意を持ち、障害の理解にも関心を高めることが十分できる。	手話や点字の習得に意欲と熱意を持ち、障害の理解にも関心を高めることが8割以上できる。	手話や点字の習得に意欲と熱意を持ち、障害の理解にも関心を高めることが7割以上できる。	手話や点字の習得に意欲と熱意を持ち、障害の理解にも関心を高めることが6割以上できる。	手話や点字の習得に意欲と熱意を持ち、障害の理解にも関心を高める力が6割に満たない。
LO-5	手話や点字の技術習得を通して、障害者の暮らしに思いを馳せることが十分できる。	手話や点字の技術習得を通して、障害者の暮らしに思いを馳せることが8割以上できる。	手話や点字の技術習得を通して、障害者の暮らしに思いを馳せることが7割以上できる。	手話や点字の技術習得を通して、障害者の暮らしに思いを馳せることが6割以上できる。	手話や点字の技術習得を通して、障害者の暮らしに思いを馳せる力が6割に満たない。

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-40				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の立場に近づき、利用者が求めている支援を提供する視点に立ち、生きてきた時間と生活からその人を理解していくことを目的に、広い視点から学習を進めていきます。介護過程という思考過程の基本を学習します。								
学習目標	人間は生きている環境が違い、考え方や生き方は様々であることを客観的に捉えることができる。個々のニーズとは何かを知り、「分析的思考」と「総合的思考」を養います。								
キーワード	生活 幸せ 情報収集 アセスメント ICF								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座9「介護過程」、「介護職員初認者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ICFの概要や考え方を理解することができる。								
LO-2	一人の人間の全体像を様々な視点から捉え、それに関連することを分析する能力を習得する。								
LO-3	これまでの生活から学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を十分身につけている。円滑なコミュニケーションをとり、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20		20				100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	20		10						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の意義 介護過程とは プロセス	
	【予習】シラバスを読み、科目の内容や目的を抑える	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第2回	介護過程とチームアプローチ	
	【予習】初任者研修テキスト P321～P323まで読んでくる	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第3回	介護過程の意義 グループワーク 問題を解決していく過程が理解できる。(1) コンセンサスゲーム 課題を通してグループワークをおこなう。グループ発表	
	【予習】「コンセンサスゲーム」について調べる	60分
	【復習】グループで検討した意見をワークシートから振り返る。	120分
第4回	介護過程の意義 相手の立場にたって物事を考える 事例1について考える。個人ワーク	
	【予習】相手の立場になって考えることとは、どのようなことが 具体的に考える	90分
	【復習】みかさんの生き方と自分の生き方を比較し、生きることの支援について考えをまとめる	90分
第5回	介護過程の意義 グループワーク 物事を多面的な視点でとらえる グループでカテゴリ分けを行い、根拠を明確にして発表する	
	【予習】ペットボトルの準備 「ペットボトル」について考える	90分
	【復習】テキスト、ノートから学習したことを振り返る	90分
第6回	介護過程の意義 事例1についてグループワークをおこない、考えられる様々な方法を話し合う。グループ発表をおこなう。	
	【予習】前回の事例1のワークシートを見ておく	90分
	【復習】他のグループで発表された意見をワークシートを見て振り返る。	90分
第7回	介護過程の基礎的理解(1) 介護過程の展開 課題解決型アプローチ	
	【予習】課題解決とは何かを考える	60分
	【復習】本時の資料と作成したワーク、グループでの話し合いをまとめる	120分
第8回	介護過程の基礎的理解(1) 介護過程の展開 課題解決型アプローチ 介護ロボットとICT	
	【予習】前回の自己のワークシートとグループでの話し合いの結果をまとめる	90分
	【復習】本時のノート、資料から振り返る。	90分
第9回	介護過程の基礎的理解(2) 課題解決型アプローチ キットカットを用いて 普段行っている動作が起こる理由を考え、客観的情報と経験から考察したことを文章化する。	
	【予習】自分が普段行っている「食べる」という活動についての根拠を考える。また、その活動の順序を細かく分析する。	60分
	【復習】本時のノート、資料から振り返る。	120分
第10回	介護過程の基礎的理解(2) 目標志向型アプローチ ICFとICIDHについて	
	【予習】「ICF」と「ICIDH」について調べる	60分
	【復習】ICFとICIDHの違いが分かる。また、ICFの構成要素について理解する。	120分

第11回	介護過程の展開 介護過程におけるニーズ ニーズを見つける視点について分かる。マズローの基本的欲求がわかる。	
	【予習】テキストP26～P43を読んでおく	60分
	【復習】本時のノート、テキスト範囲からニーズについて振り返る。	120分
第12回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(1) 介護過程の構成要素とアセスメントについて理解する。ICFの構成要素についてわかる	
	【予習】テキストP13～P14 59～61を読んでおく	90分
	【復習】アセスメントについてノート及びテキスト範囲から振り返る。	90分
第13回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(2) アセスメント情報収集について分かる。身近な人の事例課題2をICFの視点でワークシートに記述する(自己ワーク)	
	【予習】テキストP61～P62を読んでおく	90分
	【復習】本時の課題から事実を情報収集することを振り返る。	90分
第14回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(3) 身近な事例2について情報収集をICFの視点をういたワークシートに記述したものをういて発表をし、他グループからの意見を聞く。	
	【予習】テキストP50をよく読む。	90分
	【復習】グループで情報収集した内容を見直してみる。	90分
第15回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(4) グループで集めた情報をアセスメントする。既定のシートにグループから出た情報を記述し、アセスメントを行う。グループ発表	
	【予習】グループで情報収集した内容をテキストP50を参考に直し、発表の準備をしておく。	90分
	【復習】他のグループ発表を聞いて、情報収集について振り返る。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を理解する能力を十分有する ICFの概要や考え方を理解することができる	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を理解する能力を有する ICFの概要や考え方を理解できる	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性をある程度理解できる ICFの概要や考え方をある程度理解することができる	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を多少理解する ICFの概要や考え方を多少理解することができる	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を理解できない ICFの概要や考え方を理解していない
LO-2	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が十分身についている	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が身についている	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力がある程度身についている	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が多少身についている	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が身についていない
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力をある程度有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を多少有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力がない
LO-4	介護過程を展開するために必要な情報や知識を積極的に修得しようとして意欲的に行動することができる	介護過程を展開するために必要な情報や知識を修得しようとして行動することができる	介護過程を展開するために必要な情報や知識を修得しようとする程度行動することができる	介護過程を展開するために必要な情報や知識を修得しようとして多少行動することができる	介護過程を展開するために必要な情報や知識を修得しようとして行動することができない
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を十分身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身についており、	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身についており、	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢をある程度身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本がわかり、他者の意	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を多少身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が多少身についてお	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿が身につけていない 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身についておらず

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-41				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護	担当教員名	井上 理絵						
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	介護過程	後継科目	介護過程						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	様々な利用者の生活場面とその環境から適切な支援ができるよう、習得した知識や経験を介護過程の展開に活用していきます。 介護計画実習での情報収集ができるよう事例をとおして記録用紙の書き方を学びます。 専門職として必要な知識・技術を身につけ、多職種との連携を理解します。								
学習目標	情報の収集、解釈・分析、アセスメントの意味を理解し、利用者個々のニーズを把握する能力を養います。 また、介護計画を立案するために必要な具体的な情報収集能力を身につけ、介護計画を立案する能力を養います。								
キーワード	情報収集 アセスメント ICF ニーズ 本人の思い								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座9介護過程 中央法規出版 2021年度「介護実習の手引き」 富山短期大学								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	情報収集の必要性を理解する能力を有する。情報収集の必要性と方法について十分理解をしている。								
LO-2	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力を十分に有する。								
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころとからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開（情報収集と計画立案）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			30						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 介護過程の構成要素を振り返る 各自が基礎実習で、かかわった利用者についてどのようなニーズがあったか考える ワークシートに記述する	
	【予習】介護過程の構成要素、ICFの視点を見ておく。	60分
	【復習】基礎実習で自分がかかわった利用者の情報について振り返る。	120分
第2回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 グループワーク 各自がかかわった利用者の状況、必要な情報は何か話し合いワークシートにまとめる。	
	【予習】学習範囲について、テキストを見直す。	60分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る。	120分
第3回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 グループでまとめ意見を発表する。	
	【予習】学習範囲をテキストを見て読んでおく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞いて振り返る。	120分
第4回	介護過程の展開 事例学習 1 - ICFの視点で必要な情報は何か考えワークシートに記述する。	
	【予習】前回と同じテキストのページを読み確認する。生活支援技術のテキストを読む	60分
	【復習】ワークシートの記述内容をテキストを見て振り返る。	120分
第5回	介護過程の展開 事例学習 1 - グループワーク グループで意見交換し、ICFの視点をまとめる	
	【予習】生活支援技術のテキストで必要なところを見て確認しておく	60分
	【復習】グループでまとめた意見を振り返っておく。	120分
第6回	介護過程の展開 事例学習 1 - グループ発表とまとめ	
	【予習】テキストの確認 生活支援技術のテキスト確認	60分
	【復習】他のグループの発表を聞いて振り返り、情報収集についてICFの視点をまとめておく。	120分
第7回	介護過程の実践的展開 事例学習 2 - グループワーク ICFの視点で意見交換する。	
	【予習】授業日まで、事例2の必要な情報収集をICFの視点のワークシートに記述しておく。	60分
	【復習】グループで意見交換した内容を振り返る。生活支援技術のテキストを読み確認しておく。	120分
第8回	介護過程の実践的展開 事例学習 2 について、グループのまとめを発表する	
	【予習】テキストを確認する。生活支援技術のテキスト確認する。発表する内容を確認しておく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞き振り返り、事例2における情報収集についてまとめておく。	120分
第9回	介護過程の実践的展開 事例学習 1・2のまとめ 実際の情報収集の場面を体験し、気付いたことを発表する。	
	【予習】事例1と2におけるICFの視点で、グループワークしたワークシートを見直す。	60分
	【復習】実際の情報収集の場面から気付いたことをまとめておく。	120分
第10回	介護過程の実践的展開 介護計画実習に向けて、実際に用いる記録用紙(D1-3)の記述方法と留意点について理解する。	
	【予習】本学の平成27年度実習の手引きP37-39を読んでおく。	60分
	【復習】説明を受けたことの留意点、記述方法について手引きP51-53を読み振り返る。	120分

第11回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例について説明後、実習記録D1～3に記述する。	
	【予習】手引きP37～39、51～53を確認しておく。	60分
	【復習】手引きP37～39を参照しながら見直し、Mさんの事例D1～3を完成させておく	120分
第12回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例 情報収集したD1～3の内容について気がついたこと、迷ったところなどグループ話し合う。教員が提示したMさんのD1～3を見て理解できる。	
	【予習】手引きP37～39を確認する。	60分
	【復習】Tさんの事例からD1～3の記述について振り返る。	120分
第13回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの情報からアセスメント（解釈、意味づけ、統合）を実践し、課題の発見、分析を理解する	
	【予習】実習の手引きP37～41を見てくる。	60分
	【復習】テキストP97～108を事例をよく読む。	120分
第14回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例について、得られた情報から実習記録E-1表を記述する。	
	【予習】手引きP37～39、51～53を見直す。	60分
	【復習】事例4 Mさんの情報を確認してE-1表を完成させる	120分
第15回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの介護上の課題を考える。グループで、E-1表から意見をだし、E-2表を完成させる。	
	【予習】テキストP66～108、手引きP37～39、51～53を読み直す。	60分
	【復習】計画実習まで、手引きを見直し情報収集についてまとめておく。	120分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	情報収集の必要性を理解する能力を有する 情報収集の必要性と方法について十分理解をしている	情報収集の必要性を理解する能力を有する 情報収集の必要性と方法について理解をしている	情報収集の必要性を理解する能力を有する 情報収集の必要性と方法についてある程度理解をしている	情報収集の必要性を理解する能力を有する 情報収集の必要性と方法について多少理解をしている	情報収集の必要性を理解する能力を有する 情報収集の必要性と方法について理解できない
LO-2	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力を十分に有する	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力を有する	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力をある程度有する	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力を多少有する	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力がない
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力をある程度有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を多少有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力がない
LO-4	介護過程を展開（情報収集）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる	介護過程を展開（情報収集）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと行動することができる	介護過程を展開（情報収集）するために必要な情報や知識を修得しようとする程度行動することができる	介護過程を展開（情報収集）するために必要な情報や知識を修得しようと行動することができる	介護過程を展開（情報収集）するために必要な情報や知識を修得しようと行動することができない
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、

授業科目名	<b>実習指導</b>			科目コード	W111-50				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	基礎実習					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を講義やグループでの調査等から学びます。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などをグループワークや個別指導で習得します。基本的態度を理解し、利用者とは接することができるようにロールプレイングを実践します。								
学習目標	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などを習得する。基本的態度を理解し、利用者とは接することができる。								
キーワード	基礎実習、施設介護、居宅介護、コミュニケーション、生活支援、介護記録								
テキスト・ 参考書等	令和4年度 介護実習の手引き 最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。 利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。								
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生として適切にかかわる基本姿勢が習得できる。 各種記録の目的を理解し、期限内に提出できる。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	介護実習生としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20		10	20			100
LO-1	50								50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。 ポスターツアー、ワールドカフェなどを用いた授業の展開も実施								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護実習の基礎的理解 実習の意義と目的 内容など	
	【予習】テキストP2～P22まで読む	90分
	【復習】感想・気づきを書く	90分
第2回	介護実習区分について 介護実習の施設を調べる	
	【予習】テキストP23～P37まで読む	90分
	【復習】グループワークで調べている施設について詳しく調べてまとめる	90分
第3回	実習施設の理解 高齢者介護施設の概要と生活について	
	【予習】自宅近隣の施設について調べる	90分
	【復習】各種施設の生活の特徴を整理する	90分
第4回	実習施設の理解 障害児・者施設の概要と生活について	
	【予習】地域の施設について 調べる	90分
	【復習】調査したことを報告できるようにまとめる	90分
第5回	実習施設の理解 在宅系サービスについて	
	【予習】在住地域の施設を調べる	90分
	【復習】実習施設の希望を考え、提出できるようにする	90分
第6回	介護実習の方法 基礎実習の目的・目標と実習の流れ( -1)( -2)	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習に向けて具体的な取り組みをイメージする	90分
第7回	介護実習の方法 到達目標を理解して、実習の課題の整理	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習の手引きを読む	90分
第8回	介護実習の方法 到達目標を達成するための取り組みについて考える	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】意見交換した内容を振り返り、まとめて課題を提出する	90分
第9回	介護実習における記録 日々の活動記録について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】課題を作成し提出する	90分
第10回	介護実習における記録 「利用者とのかかわりの記録」について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】課題を作成し提出する	90分

第11回	介護実習に対する準備 実習の心得・カンファレンスについて	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習の手引きを読む	90分
第12回	介護実習に対する準備 基本的な接遇と感染症予防について	
	【予習】一般的なマナーを調べる	90分
	【復習】自己行動を振り返り、マナーと感染予防の実践を生活に取り入れる	90分
第13回	オリエンテーション 実習施設への事前訪問・諸注意	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】施設に電話をかけたポイントメントを取り、報告する	90分
第14回	特別講義 「居宅・施設介護における介護と介護職員の役割・実習生に望むもの」	
	【予習】実習の手引きを確認し読む	90分
	【復習】A-1表作成	90分
第15回	実習スケジュール、評価について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習に必要な物品準備、試験に向けての復習	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を十分理解できる。利用者の生活と施設・居宅介護の特色を理解し、十分説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の生活と施設・居宅介護の特色を理解し、説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を一部理解できる。利用者の生活と施設・居宅介護の特色を一部理解し、説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を多少理解できる。利用者の生活と施設・居宅介護の特色を理解し、多少(6割以上)説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できない。利用者の生活と施設・居宅介護の特色を理解し、説明できない。
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が十分習得できる。各種記録の目的を理解し、正確に記録し期限内に提出できる。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、正確に記録し期限内に提出できる。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢がおおた習得できる。各種記録の目的を理解し、記録し期限内に提出できる。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が一部習得できる。各種記録の目的を理解し、記録に時間を要する。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が習得できない。各種記録の目的を理解し、記録し提出できない。
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組みが消極的で、自己の考えをまとめレポートに作成し提出できる。	課題の調査に取り組みが不十分で、自己の考えをまとめずレポート作成に時間を要する。	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し提出できない。
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートが良くなる。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートがおおたできる。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートに困難がある。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートできない。
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーが十分とれる。	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーが一部とれる。	実習生・介護福祉士としての自覚が薄く、相手の立場を理解した適切なマナーに困難がある。	実習生・介護福祉士としての自覚が無く、相手の立場を理解した適切なマナーがとれない。

授業科目名	<b>実習指導</b>			科目コード	W111-51				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護福祉論、生活支援技術、コミュニケーション論、コミュニケー		後継科目	実習指導、介護過程実習					
関連科目	介護過程、生活支援技術、介護計画実習、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	基礎実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、新たな学習課題を明確にします。また、グループワーク等により情報・体験を共有化を図り学びを深めます。介護計画実習に向けて、介護過程の展開を基に、介護計画立案に必要な情報収集に関する知識を習得します。								
学習目標	基礎実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。介護計画実習に向けての目標を理解し、実習記録の書き方や利用者理解の方法が習得できる。								
キーワード	介護計画実習、ICFの視点、情報収集、レクリエーション、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座10介護総合演習・介護実習 富山短期大学 健康福祉学科 「介護実習の手引き」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。 利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。 各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように努力できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		30		10	20			100
LO-1	20								20
LO-2	20		10						30
LO-3			20						20
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワーク活動、参加態度に点数を与える。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	実習指導 授業の概要説明 介護計画実習までの流れ 基礎実習 事後学習(1) 訪問介護実習の振り返り	
	【予習】基礎実習訪問・施設 実習ファイルの確認をする。実習の手引き参照	30分
	【復習】基礎実習・訪問を終えて明らかになった課題を、指示された用紙に記入する。	60分
第2回	基礎実習 事後学習(2) 基礎実習・訪問 振り返り	
	【予習】訪問介護の目的について確認をする。	30分
	【復習】訪問介護実習の振り返りを通して、訪問介護の意義について指定の用紙に記入する。	60分
第3回	基礎実習 事後学習(3) 事前・事後レポートを読み返し、達成状況を客観的に整理する。そのことをとおして、残された課題を明らかにする。	
	【予習】B表の事例についてあらかじめ読んでくる。	30分
	【復習】B表の振り返りを用紙に記入する。	60分
第4回	基礎実習 事後学習(4) B表を振り返ります。	
	【予習】「実習の手引き」B表の要点を熟読してください。	30分
	【復習】事例課題の作成、提出。	60分
第5回	基礎実習 事後学習(5) C表 利用者との関わりの過程を振り返ります	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】授業で提示されたC表を完成する。	60分
第6回	基礎実習 事後学習(6) B表の振り返りをします。(まとめ・発表)	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】C表のポイントについて、再確認します。	60分
第7回	介護計画実習 事前学習(1) 実習のねらいと到達目標について説明します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】介護計画実習の流れを確認します。	60分
第8回	介護計画実習 事前学習(2) 受け持ち利用者像について明確にします。	
	【予習】平成27年度介護計画実習報告集を読んでくる。興味・関心を持った事例を3例取り上げる。	30分
	【復習】介護計画実習での各自の受け持ちたい利用者像を用紙に記入する。	60分
第9回	介護計画実習 事前学習(3) 実習課題の明確化 日々の実習目標の作成	
	【予習】実習の手引き「今日の実習目標」要点を読んでくる。	30分
	【復習】授業中の課題を完成する。	60分
第10回	介護計画実習 事前学習(4) 生活支援技術の確認 受け持ち利用者像の最終確認をして、実習での具体的な行動を計画します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】課題作成、提出。	60分

第11回	特別講義 介護計画実習にむけて、実習指導者から講義を受けます。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】事前レポート作成、提出。	60分
第12回	実習で想定される問題点に対する対応策を検討します。	
	【予習】事前レポート作成、提出	60分
	【復習】授業で提示された事例を振り返る。	60分
第13回	レクリエーション企画立案・報告書の書き方について説明	
	【予習】実習の手引きを読んでくる	30分
	【復習】レクリエーション企画書・報告書の確認	60分
第14回	介護計画実習で使用する記録用紙の配布。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】定期試験対策	60分
第15回	事前打ち合わせの オリエンテーション	
	【予習】定期試験対策	30分
	【復習】定期試験対策	60分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を的確に説明できる。	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明できる。	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質が一部理解できる。利用者の全体像をICFの視点から捉え、おおむね生活を説明できる	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質の理解に努力を要する。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明することが	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できない。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明できない。
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、正確に記録し期限内に提出できる。	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、記録し期限内に提出できる。	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢が一部習得できる。各種記録の目的を理解し、記録し提出することに時間	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢の習得に時間を要する。各種記録の目的を理解し、記録し提出することに時間	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢が習得できない。各種記録の目的を理解し、記録し提出できない。
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組み、自己の考えをおおむねまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成することが困難であるが提出できる。	課題の調査に取り組まず、自己の考えをまとめレポートに作成しに提出できない。
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。	授業に参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートできる。	授業に参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートの補助ができる。	授業に参加し意見を述べるが、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートできない。	授業に参加し意見を述べず、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートできない。
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように努力できる。	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うようにおおむね努力できる。	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように考えられる。	実習生・介護福祉士としての自覚が薄く、専門職としての資質を養うことに困難がある。	実習生・介護福祉士としての自覚が無く、専門職としての資質を養うように努力できない。



授業科目名	基礎実習 -1			科目コード	W111-60				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導		後継科目	介護計画実習 実習指導					
関連科目	生活支援技術 ころとからだのしくみ コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護を必要とする人が利用する施設・事業所で、実習指導者のシャドーイングをとおして、介護の仕事の魅力を感じることができる。								
学習目標	1. 観察をとおして、利用者がどのようにサービスを利用しているか理解することができる。 2. 観察をとおして、指導者がどのように利用者に関わっているか理解することができる。 3. 指導者のもとで利用者とのコミュニケーションをとることができる。 4. 介護職の仕事の内容と働く場を理解する。								
キーワード	シャドーイング コミュニケーション 介護の魅力 観察								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者とコミュニケーションをとることができる								
LO-2	生活支援技術 初歩的なコミュニケーションができる。 利用者が暮らしやすいように、安全に配慮した工夫がわかる。								
LO-3	記録と計画 見学・実施した事柄を実習記録に記録することができる。 利用者とのかかわりの事実が記録できる。								
LO-4	チームワーク 介護職員の業務内容を理解できる。 社会的役割 施設・事業所について理解できる。 家族とのかかわりが理解できる。								
LO-5	実習課題 自己の課題を設定し、計画的に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標」を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】A表追記	90分
第2回	2日目 1.2.3.6.7同様 8.職員に同行し、利用者を知る・いい介護に触れる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第3回	3日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とのコミュニケーションをとる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第4回	4日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とのコミュニケーションをとる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第5回	5日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とのコミュニケーションをとる 気づきをまとめる 最終カンファレンス	
	【予習】B表記入 最終カンファレンスの準備をする	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。 C表を記入する。 経験録を記入確認する。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	利用者の一日の生活の流れ、生活歴、利用者同士の人間関係などから暮らしぶりを十分に説明することができる。	利用者の一日の生活の流れ、生活歴、利用者同士の人間関係などから暮らしぶりを説明することができる。	利用者の一日の生活の流れ、生活歴、利用者同士の人間関係などから暮らしぶりを多少説明することができる。	利用者の一日の生活の流れ、生活歴、利用者同士の人間関係などから暮らしぶりを説明することができる。	利用者の一日の生活の流れ、生活歴、利用者同士の人間関係などから暮らしぶりを説明することができない。
LO-2	利用者の話を聴くことができる。利用者に自分からかかわっていくことができる。なるべく一緒に時間を過ごす。自分のことを利用者に伝える。利用者との	利用者の話を聴くことができる。利用者に自分からかかわっていくことができる。なるべく一緒に時間を過ごす。自分のことを利用者に伝える。利用者との	利用者の話を聴くことができる。利用者に自分からかかわっていくことができる。なるべく一緒に時間を過ごす。自分のことを利用者に伝える。利用者との	利用者の話を聴くことができる。利用者に自分からかかわっていくことができる。なるべく一緒に時間を過ごす。自分のことを利用者に伝える。利用者との	利用者の話を聴くことができる。利用者に自分からかかわっていくことができる。なるべく一緒に時間を過ごす。自分のことを利用者に伝える。利用者との
LO-3	自分の立てた今日の目標に沿って、行動予定、観察・活動内容及び反省、考察を的確に記録することが十分にできる。利用者とのかかわりの事実が的	自分の立てた今日の目標に沿って、行動予定、観察・活動内容及び反省、考察を的確に記録することが十分にできる。利用者とのかかわりの事実が的	自分の立てた今日の目標に沿って、行動予定、観察・活動内容及び反省、考察を的確に記録することが十分にできる。利用者とのかかわりの事実が的	自分の立てた今日の目標に沿って、行動予定、観察・活動内容及び反省、考察を的確に記録することが十分にできる。利用者とのかかわりの事実が的	自分の立てた今日の目標に沿って、行動予定、観察・活動内容及び反省、考察を的確に記録することが十分にできる。利用者とのかかわりの事実が的
LO-4	介護職員の業務内容や一日の流れを、担当の指導者や他のスタッフと会話を通して十分に理解できる	介護職員の業務内容や一日の流れを、担当の指導者や他のスタッフと会話を通して、ある程度理解できる。	介護職員の業務内容や一日の流れを、担当の指導者や他のスタッフと会話を通して、多少理解できる。	介護職員の業務内容や一日の流れを、担当の指導者や他のスタッフと会話を通して多少理解できる。	介護職員の業務内容や一日の流れを、担当の指導者や他のスタッフと会話を通して、理解できない。
LO-5	実習全体の総括目標と行動目標が明確になっており、それを受けて「今日の实習目標」も毎日十分明確になっている。	実習全体の総括目標と行動目標が明確になっており、それを受けて「今日の实習目標」も毎日ある程度明確になっている。	実習全体の総括目標と行動目標が明確になっており、それを受けて「今日の实習目標」も毎日、多少明確になっている。	実習全体の総括目標と行動目標が明確になっており、それを受けて「今日の实習目標」も毎日多少明確になっている。	実習全体の総括目標と行動目標が明確になっており、それを受けて「今日の实習目標」も毎日、明確になっていない。

授業科目名	介護計画実習			科目コード	W111-61				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	3単位					
前提科目(知識)	基礎実習 -1、基礎実習 -2		後継科目	介護過程実習					
関連科目	実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士国家資格								
授業の概要	救護施設、障害者支援施設、障害児入所施設、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、域密着型介護老人福祉施設、通所介護、富山型デイサービス、小規模多機能型居宅介護等、実習区分 に該当する施設・事業所で介護過程をととした介護計画の立案と、生活支援技術の基礎的な体験を行う。								
学習目標	1. 受け持ち利用者の情報をとおして介護過程のプロセスを理解する。 2. 指導者と共に日常生活支援を行う								
キーワード	介護計画立案 受け持ち利用者 アセスメント 生活支援技術 時差勤務								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学健康福祉学科 2023年度「介護実習の手引き（介護計画実習）」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。 配属された実習場所で生活をしているその他の利用者をだまかに捉える事ができる。								
LO-2	生活支援技術 個別的なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる								
LO-3	利用者の現在の心身の状況が分かるように、具体的に記録する。受け持ち利用者の思いを開度計画を立案し、簡潔に記録できる。								
LO-4	チームワーク 受け持ち利用者を中心に多職種との協働を経験できる。 多職種との協働の中で介護職員や個人の役割が理解できる。 社会的役割								
LO-5	実習課題 設定した課題を実践し、評価することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	受け持ち利用者の選定 1.配属先の利用者の特性を知る。2.『受け持ちしたい利用者像』と照らし合わせる。3.指導者より、複数の利用者を紹介してもらう。4.いろいろな場面をとどめて利用者にかかわる。 1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。経験録をチェックする。	30分
第2回	受け持ち利用者の選定 1.配属先の利用者の特性を知る。2.『受け持ちしたい利用者像』と照らし合わせる。3.指導者より、複数の利用者を紹介してもらう。4.いろいろな場面をとどめて利用者にかかわる。 1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。経験録をチェックする。	30分
第3回	受け持ち利用者の決定、指導者、スタッフ、巡回指導教員等に相談する。受け持ち利用者を決定する。受け持ち利用者に説明し同意を得る。1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。 実習指導者または担当職員の指導のもと、生活支援技術を「見学」「模倣」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。	30分
第4回	受け持ち利用者の情報収集 個人ファイル、利用者、実習指導者、担当職員、多職種の方々から情報を収集しD-1.2.3表を記入する。情報の記入にあたっては「実習の手引き」を参照する。介護職以外の職種からも情報を得る。1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。実習指導者または担当職員の指導のもと、生活支援技術を「見学」	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。	30分
第5回	受け持ち利用者の情報収集 個人ファイル、利用者、実習指導者、担当職員、多職種の方々から情報を収集しD-1.2.3表を記入する。情報の記入にあたっては「実習の手引き」を参照する。介護職以外の職種からも情報を得る。1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。実習指導者または担当職員の指導のもと、生活支援技術を「見学」	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第6回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う 実習指導者又は担当職員に提出し、内容の確認をする。指導者から助言をもらい、再び情報収集を行い記入する。追加・訂正したものを実習指導者または担当職員に提出し、内容の確認をする。介護職以外の職種の方々からも情報をもらいD表に記載する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第7回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う 実習指導者又は担当職員に提出し、内容の確認をする。指導者から助言をもらい、再び情報収集を行い記入する。追加・訂正したものを実習指導者または担当職員に提出し、内容の確認をする。介護職以外の職種の方々からも情報をもらいD表に記載する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第8回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う D表の完成 実習指導者又は担当職員に提出し、内容の確認をする。指導者から助言をもらい、再び情報収集を行い記入する。追加・訂正したものを実習指導者または担当職員に提出し、内容の確認をする。介護職以外の職種の方々からも情報をもらいD表に記載する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第9回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う アセスメントを行う。「実習の手引き」の記入上の留意点を再度確認し、全体像を把握する。介護上の課題の方向性について、考え実習指導者、担当職員、多職種と意見交換をする。E表に記入する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第10回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う アセスメントを行う。「実習の手引き」の記入上の留意点を再度確認し、全体像を把握する。介護上の課題の方向性について、考え実習指導者、担当職員、多職種と意見交換をする。E表に記入する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分

第11回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。アセスメントの完成 指導者の指導を受けながらアセスメントを完成する。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第12回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。介護計画の立案 生活課題に添って、具体的に達成可能な目標を設定する。具体的援助内容(具体策)を立案し、F表に記入する。F表を記入後、指導者の確認を得る。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第13回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。介護計画の立案 生活課題に添って、具体的に達成可能な目標を設定する。具体的援助内容(具体策)を立案し、F表に記入する。F表を記入後、指導者の確認を得る。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第14回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。介護計画の立案 生活課題に添って、具体的に達成可能な目標を設定する。具体的援助内容(具体策)を立案し、F表に記入する。F表を記入後、指導者の確認を得る。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】 A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】 A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第15回	情報収集・アセスメント・個別援助計画の立案という一連の介護過程を振り返る。 2.他職種との関わりについて振り返る	
	【予習】 B表記入 反省会の準備をする。	30分
	【復習】 A-1・2表・B表・C表・D表・経験録・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	30分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	利用者とかかわりをもつなかで必要な情報を得ることができる。さまざまな職種から利用者の情報を収集することができる。収集した情報を概観し、不足	左記の内容について、ある程度できる。	左記の内容について、多少できる。	左記の内容について、助言を受けてできる。	左記の内容について、できない。
LO-2	心身の状況を大まかに把握し、自立支援を目指した介護のあり方を確認でき、安全・安楽に確実に行うことができる。利用者の潜在能力を観察し、	左記の内容について、ある程度実施できる。	左記の内容について、多少実施できる。	左記の内容について、指導の下で実施できる。	左記の内容について、できない。
LO-3	D1～D3までの記録様式に従い、情報を収集し、具体的に十分に記録することができる。B表、C表を的確に記録することが十分にでき、提出期日を	左記の内容について、ある程度できる。	左記の内容について、多少できる。	左記の内容について、助言を受けてできる。	左記の内容について、できない。
LO-4	受け持ち利用者を中心に多職種との協働を十分にできる。 多職種との協働の中で介護職員や個人の役割が十分理解でき	左記の内容について、ある程度できる。	左記の内容について、多少できる。	左記の内容について、助言を受けてできる。	左記の内容について、ある程度できない。
LO-5	実習全体の自己課題が事前レポートで明確になっており、それを受けて「今日の実習目標」も毎日十分明確になっている。	左記の内容について、ある程度できる。	左記の内容について、多少できる。	左記の内容について、助言を受けてできる。	左記の内容について、できない。

授業科目名	こころとからだのしくみ			科目コード	W112-10				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美 白井 聡美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉等）として保健所、保健福祉センター、長寿福祉課等に勤務し、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。（中島）								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	こころとからだのしくみ					
関連科目	こころとからだのしくみ    こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	介護実践に必要なこころとからだのしくみの導入科目として、健康の概念、こころとからだのしくみの基礎的理解をはかり、こころのしくみについて基礎的な知識を得る内容とする。 認知症や障害のある人がその人らしい生活を実現できるよう、心理的側面から介護実践を考えることができる内容とする。								
学習目標	介護を必要としている人の生活支援を行うため、健康の概念、介護実践の根拠となる人間の脳のしくみと働き、心理を理解する学習とする。								
キーワード	介護、認知症、脳、尊厳								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」第2版 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について理解する。								
LO-2	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について説明できる。								
LO-3	こころのしくみについて身近な高齢者等を通して考察することができる。								
LO-4	こころのしくみについて関心をもち、主体的に学ぼうという意欲がある。								
LO-5	こころのしくみを理解し、グループワークにおいて多様な考えをもつクラスメイトに共感できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	40			30			100
LO-1		20							20
LO-2		10				10			20
LO-3			20						20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	Aは普通の授業の中で評価する。 授業アンケートの質問等は、次の講義で共有する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	こころとからだのしくみの基礎：オリエンテーション、健康とは何か（中島真由美）	
	【予習】シラバスを読んで授業の内容について確認する。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第2回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するこころのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第3回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するこころのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第4回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するからだのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第5回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するからだのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第6回	こころのしくみの理解：こころのしくみについて（白井聡美）	
	【予習】こころのしくみについて本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第7回	こころのしくみの理解：人間欲求の基本的理解・自己実現（白井聡美）	
	【予習】テキストp14～18を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第8回	こころのしくみの理解：自己概念について（白井聡美）	
	【予習】テキストp19～23を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第9回	こころのしくみの理解：脳のつくりと働きの理解（白井聡美）	
	【予習】テキストp25～27を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第10回	こころのしくみの理解：認知のしくみ（白井聡美）	
	【予習】テキストp25～28を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分

第11回	こころのしくみの理解：学習・記憶・思考のしくみ（白井聡美）	
	【予習】テキストp28～32を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第12回	こころのしくみの理解：感情・情動のしくみ（白井聡美）	
	【予習】テキストp32～33を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第13回	こころのしくみの理解：意欲・動機づけのしくみ（白井聡美）	
	【予習】テキストp33～34を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第14回	こころのしくみの理解：適応のしくみ（白井聡美）	
	【予習】テキストP35～38を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第15回	こころのしくみの理解：まとめ（白井聡美）	
	【予習】これまでの学びを振り返っておく。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	教科書内の健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について体系的に理解している。	教科書内の健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について概ね理解している。	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について理解する。	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について6割程度理解する。	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について半分程度しか理解していない。
LO-2	教科書内の健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について説明できる。	教科書内の健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について概ね説明できる。	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について説明できる。	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について6割程度説明できる。	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について半分程度しか説明できない。
LO-3	教科書内の健康の概念、こころのしくみの基礎知識をもとに身近な高齢者等について考察することができる。	教科書内の健康の概念、こころのしくみの基礎知識をもとに身近な高齢者等について概ね考察することができる。	健康の概念、こころのしくみの基礎知識をもとに身近な高齢者等を通して考察することができる。	健康の概念、こころのしくみの基礎知識をもとに身近な高齢者等を通してやや考察することができる。	健康の概念、こころのしくみの基礎知識をもとに身近な高齢者等を通して考察することがほとんどできない。
LO-4	教科書以外にも健康やこころのしくみについて関心をもち、主体的に学ぼうという意欲がある。	教科書内の健康やこころのしくみについて関心をもち、主体的に学ぼうという意欲がある。	健康やこころのしくみについて関心をもち、主体的に学ぼうという意欲がある。	健康やこころのしくみについて関心をもち、主体的に学ぼうという意欲が少しある。	健康やこころのしくみについて関心をもち、主体的に学ぼうという意欲がほとんどない。
LO-5	教科書内の健康の概念やこころのしくみを理解し、グループワークにおいて多様な考えをもつクラスメイトに共感できる。	教科書内の健康の概念やこころのしくみを理解し、グループワークにおいて多様な考えをもつクラスメイトに概ね共感できる。	健康の概念やこころのしくみを理解し、グループワークにおいて多様な考えをもつクラスメイトに共感できる。	健康の概念やこころのしくみを理解し、グループワークにおいて多様な考えをもつ一部のクラスメイトに共感できる。	健康の概念やこころのしくみを理解し、グループワークにおいて多様な考えをもつクラスメイトにほとんど共感できない。



授業科目名	こころとからだのしくみ			科目コード	W112-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	白井 聡美					
実務経験	総合病院や看護教育機関での実務経験をもとに必要な知識や技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	こころとからだのしくみ、発達と老化の理解、認知症ケア論、障害者ケア論					
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目								
授業の概要	人体を構成している各組織や器官の構造（解剖学）や機能（生理学）、生体機能を維持するしくみを学ぶ。								
学習目標	介護技術の基礎となる人体の構造と機能に関する基礎知識を身につける。								
キーワード	解剖、生理、生命、ヒト、遺伝、細胞、組織、器官								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座 1 1 こころとからだのしくみ 第2版 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能に関する基礎知識がある。								
LO-2	人体を構成している各組織や器官の構造と機能が説明できる。								
LO-3	各組織や器官のしくみやはたらきについて、学生の体や身の回りで起こっていることと結びつけて考えることができる。								
LO-4	人体の構造と機能について関心を持ち、主体的に受講できる。								
LO-5	共に学ぶ者が互いに気持ちよく学べるよう学習環境に気を配ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20			30			100
LO-1	30								30
LO-2	20								20
LO-3			20						20
LO-4						20			20
LO-5						10			10
備考	Aは普通の授業の中で評価する。 授業アンケートの質問等は、次の講義で共有する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション からだのしくみの理解 組織・器官、身体各部の名称	
	【予習】テキストp42～47を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第2回	からだのしくみの理解 細胞、遺伝	
	【予習】テキストp46～49を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第3回	からだのしくみの理解 脳神経、神経系	
	【予習】テキストp49～53、p71～72を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第4回	からだのしくみの理解 感覚器	
	【予習】テキストp53～56を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第5回	からだのしくみの理解 感覚器	
	【予習】テキストp53～56を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第6回	からだのしくみの理解 呼吸器、循環器	
	【予習】テキストp56～60を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第7回	からだのしくみの理解 消化器	
	【予習】テキストp60～63を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第8回	からだのしくみの理解 消化器	
	【予習】テキストp60～63を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第9回	からだのしくみの理解 泌尿器、生殖器	
	【予習】テキストp63～64、p72～73を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第10回	からだのしくみの理解 骨、筋肉、関節	
	【予習】テキストp65～70を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分

第11回	からだのしくみの理解 骨、筋肉、関節	
	【予習】テキストp65～70を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第12回	からだのしくみの理解 内分泌	
	【予習】テキストp74～78を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第13回	からだのしくみの理解 血液、体液、リンパ液	
	【予習】テキストp78～80を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第14回	からだのしくみの理解 生命を維持するしくみ	
	【予習】テキストp81～82を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第15回	からだのしくみの理解 介護福祉職に必要な薬の知識、まとめ	
	【予習】テキストp82～86を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能に関する基礎知識が十分ある。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能に関する基礎的知識がおおむねある。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能に関する基礎的知識がある。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能に関する基礎的知識がまあまあある。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能に関する基礎的知識が不十分である。
LO-2	人体を構成している各組織や器官の構造と機能について十分説明できる。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能についておおむね説明できる。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能を説明できる。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能をまあまあ説明できる。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能の説明が不十分である。
LO-3	各組織や器官のしくみやはたらきについて、学生の体や身の回りで起こっていることと結びつけて十分に考えることができる。	各組織や器官のしくみやはたらきについて、学生の体や身の回りで起こっていることと結びつけて、おおむね考えることができる。	各組織や器官のしくみやはたらきについて、学生の体や身の回りで起こっていることと結びつけて考えることができる。	各組織や器官のしくみやはたらきについて、学生の体や身の回りで起こっていることと結びつけてまあまあ考えることができる。	各組織や器官のしくみやはたらきについて、学生の体や身の回りで起こっていることと結びつけて考えるのが不十分である。
LO-4	人体の構造と機能について関心を持ち、主体的に受講する力が十分ある。	人体の構造と機能について関心を持ち、主体的に受講する力がおおむねある。	人体の構造と機能について関心を持ち、主体的に受講する力がある。	人体の構造と機能について関心を持ち、主体的に受講する力がまあまあある。	人体の構造と機能について関心を持ち、主体的に受講する力が不十分である。
LO-5	共に学ぶ者が互いに気持ちよく学べるよう学習環境に十分気を配ることができる。	共に学ぶ者が互いに気持ちよく学べるよう学習環境におおむね気を配ることができる。	共に学ぶ者が互いに気持ちよく学べるよう学習環境に気を配ることができる。	共に学ぶ者が互いに気持ちよく学べるよう学習環境にまあまあ気を配ることができる。	共に学ぶ者が互いに気持ちよく学べるよう学習環境に気を配ることが不十分である。

授業科目名	ころとからだのしくみ			科目コード	W112-12				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - ころとからだのしくみ		担当教員名	白井 聡美					
実務経験	総合病院や看護教育機関での実務経験をもとに必要な知識や技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	ころとからだのしくみ		後継科目	ころとからだのしくみ					
関連科目	発達と老化の理解								
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	生活支援を行う際に必要となる基礎的な知識として、移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の介護実践の場面に応じたころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する内容とする。								
学習目標	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の介護実践の場面に必用なころとからだのしくみに関する基本的な知識を身につける。 介護実践時の観察のポイントや対応に関する基礎的な知識を身につける。								
キーワード	移動、身じたく、食事、入浴、清潔保持								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座11「ころとからだのしくみ」第2版 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識がある。								
LO-2	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の観察のポイントを説明できる。								
LO-3	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみを理解し、変化と気づきに対応する思考力、判断力がある。								
LO-4	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアについて関心をもち主体的に学び続ける力がある。								
LO-5	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアが必要な人への思いに共感する力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		30			30			100
LO-1	20								20
LO-2	10					10			20
LO-3	10		10						20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他 A は授業の中で評価する。 感染状況を考慮し、個人ワーク、グループワークを取り入れる。 授業アンケートでの質問は必要に応じ次回授業で全体で共有する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第3章 移動に関連したところとからだのしくみ 第1節 移動のしくみ	
	【予習】教科書P90～P104までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第2回	第3章 移動に関連したところとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が移動に及ぼす影響	
	【予習】教科書P106～P111までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第3回	第3章 移動に関連したところとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P112～P115までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第4回	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみ 第1節 身じたくのしくみ	
	【予習】教科書P118～P135までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第5回	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみ 第1節 身じたくのしくみ	
	【予習】教科書P118～P135までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第6回	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響	
	【予習】教科書P137～P142までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第7回	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P143～P151までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第8回	第5章 食事に関連したところとからだのしくみ 第1節 食事のしくみ	
	【予習】教科書P154～P160までを読んでくる。 P161演習5-1「摂食嚥下の5期モデルと内容」の空欄を埋めてくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第9回	第5章 食事に関連したところとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が食事に及ぼす影響	
	【予習】教科書P162～P168までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第10回	第5章 食事に関連したところとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P169～P175までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分

第11回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことからだのしくみ 第1節 入浴・清潔保持のしくみ	
	【予習】教科書P178～P188までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第12回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことからだのしくみ 第1節 入浴・清潔保持のしくみ	
	【予習】教科書P178～P188までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第13回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が入浴・生活保持に及ぼす影響	
	【予習】教科書P190～P199までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第14回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P201～P210までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでのノートを振り返りみてくる。	90分
	【復習】移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持に関連したことからだのしくみについてまとめる	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識が十分ある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識がおおむねある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識がある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識がまあまあある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識が不十分である。
LO-2	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の観察のポイントを十分説明できる。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の観察のポイントをおおむね説明できる。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の観察のポイントを説明できる。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の観察のポイントをまあまあ説明できる。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の観察のポイントの説明が不十分である。
LO-3	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみを理解し、変化と気づきに対応する思考力、判断力が十分ある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみを理解し、変化と気づきに対応する思考力、判断力がおおむねある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみを理解し、変化と気づきに対応する思考力、判断力がある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみを理解し、変化と気づきに対応する思考力、判断力がまあまあある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみを理解し、変化と気づきに対応する思考力、判断力が不十分である。
LO-4	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアについて関心をもち主体的に学び続ける力が十分ある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアについて関心をもち主体的に学び続ける力がおおむねある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアについて関心をもち主体的に学び続ける力がある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアについて関心をもち主体的に学び続ける力がまあまあある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアについて関心をもち主体的に学び続ける力が不十分である。
LO-5	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアが必要な人への思いに共感する力が十分ある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアが必要な人への思いに共感する力がおおむねある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアが必要な人への思いに共感する力がある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアが必要な人への思いに共感する力がまあまあある。	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアが必要な人への思いに共感する力が不十分である。

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W112-20				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	谷 優美子					
実務経験	市の職員（看護師）として病院に勤務し、高齢者のケアや家族の相談、社会資源との連携をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	発達と老化の理解					
関連科目	こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士、介護職員初任者研修								
授業の概要	人間の成長と発達の基本的な考え方を踏まえ、ライフサイクルの各期における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題及び特徴的な疾病について理解する内容とする。 老化に伴う身体的・心理的・社会的変化と生活への影響を理解する内容とする。								
学習目標	人間の成長と発達の基礎を理解する。 老年期の発達と成熟を理解する。 老化に伴うこころとからだの変化と生活を理解する。								
キーワード	成長と発達 発達理論 老化 高齢者の心理 高齢者に多い症状・病気								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」中央法規、 介護職員初任者研修テキスト1介護のしごとの基礎 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活についての基礎的知識がある。								
LO-2	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活についての基礎的知識をふまえ、高齢者から若い頃と比べて生活面で変化したと思うこと等、聞き取ることができる。								
LO-3	高齢者疑似体験に基づき、老化に伴うこころとからだの変化を表現することができる。								
LO-4	高齢者疑似体験で気づいた老化にともなうこころとからだの変化を根拠とつなげることができる。								
LO-5	高齢者の多様な生き方や考え方に共感し、受容することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	80					100	
LO-1		20						20	
LO-2			10					10	
LO-3			20					20	
LO-4			20					20	
LO-5			30					30	
備考	レポートにコメントする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間の成長と発達の基礎的理解 老化に伴うところからの変化と日常	
	【予習】 初任者研修テキストP266～P281を読んでくる。	90分
	【復習】 授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第2回	人間の成長と発達の基礎的理解 老化に伴うところからの変化と日常	
	【予習】 初任者研修テキストP282～P293を読んでくる。	90分
	【復習】 授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第3回	人間の成長と発達の基礎的理解 高齢者と健康	
	【予習】 初任者研修テキストP294～P311を読んでくる。	90分
	【復習】 授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第4回	人間の成長と発達の基礎的理解 高齢者と健康	
	【予習】 初任者研修テキストP312～P325を読んでくる。	90分
	【復習】 授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第5回	人間の成長と発達の基礎的理解 第1章 人間の成長と発達の基礎的知識 第2章 人間の発達段階と発達課題 第1節 発達理論 第2節発達段階と発達課題	
	【予習】 教科書P2～P34までをよく読んでくる。	90分
	【復習】 授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	人間の成長と発達の基礎的理解 第2章 人間の発達段階と発達課題 第3節 身体的機能の成長と発達 第4節 心理的機能の成長と発達 第5節 社会的機能の発達	
	【予習】 教科書P35～P67までをよく読んでくる。	90分
	【復習】 授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第7回	人間の成長と発達の基礎的理解 第3章 老年期の特徴と発達課題	
	【予習】 教科書P70～P106までをよく読んでくる。	90分
	【復習】 授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第8回	老化にともなうところからの変化と生活 第4章 第1節 老化にともなう身体的変化と生活への影響	
	【予習】 教科書P110～P140までをよく読んでくる。	90分
	【復習】 授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第9回	高齢者疑似	
	【予習】 教科書P110～P140までをよく読んでくる。	90分
	【復習】 授業を振り返り、該当するワークシートを完成させる。	90分
第10回	高齢者疑似	
	【予習】 教科書P110～P140までをよく読んでくる。	90分
	【復習】 授業を振り返り、該当するワークシートを完成させる。	90分



第11回	高齢者疑似のまとめ	
	【予習】教科書P110～P140までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第12回	老化にともなうこととからだの変化と生活 第4章 第2節 老化にともなう心理的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P143～P162までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第13回	老化にともなうこととからだの変化と生活 第4章 第2節 老化にともなう社会的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P164～P184までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第14回	老化にともなうこととからだの変化と生活 第4章 第2節 老化にともなう社会的な変化と生活への影響	
	【予習】老化にともなう社会的な変化と生活への影響のインタビュー完成させて授業前に提出できるようにする。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第15回	老化にともなうこととからだの変化と生活 第4章 第3節 老化にともなう社会的な変化と生活への影響、まとめ	
	【予習】教科書をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	人間の成長と発達、老化にともなうこととからだの変化と生活について、十分に基礎的知識を習得している。	人間の成長と発達、老化にともなうこととからだの変化と生活について、基礎的知識を習得している。	人間の成長と発達、老化にともなうこととからだの変化と生活について、ある程度基礎的知識を習得している。	人間の成長と発達、老化にともなうこととからだの変化と生活について、多少基礎的知識を習得している。	人間の成長と発達、老化にともなうこととからだの変化と生活について、基礎的知識が習得していない。
LO-2	高齢者から若いことと比べて生活面で変化したと思うこと等、十分聞き取ることができる。	高齢者から若いことと比べて生活面で変化したと思うこと等、聞き取ることができる。	高齢者から若いことと比べて生活面で変化したと思うこと等、ある程度聞き取ることができる。	高齢者から若いことと比べて生活面で変化したと思うこと等、多少聞き取ることができる。	高齢者から若いことと比べて生活面で変化したと思うこと等、聞き取ることができない。
LO-3	高齢者疑似体験に基づき、老化に伴うこととからだの変化を十分に表現することができる。	高齢者疑似体験に基づき、老化に伴うこととからだの変化を表現することができる。	高齢者疑似体験に基づき、老化に伴うこととからだの変化をある程度表現することができる。	高齢者疑似体験に基づき、老化に伴うこととからだの変化を多少表現することができる。	高齢者疑似体験に基づき、老化に伴うこととからだの変化を十分に表現することができない。
LO-4	高齢者疑似体験で気づいた老化にともなうこととからだの変化が十分に根拠づけられている。	高齢者疑似体験で気づいた老化にともなうこととからだの変化が根拠づけられている。	高齢者疑似体験で気づいた老化にともなうこととからだの変化がある程度根拠づけられている。	高齢者疑似体験で気づいた老化にともなうこととからだの変化が多少根拠づけられている。	高齢者疑似体験で気づいた老化にともなうこととからだの変化が根拠づけられていない。
LO-5	高齢者の多様な生き方や考え方に共感し、受容することが十分できる。	高齢者の多様な生き方や考え方に共感し、受容することができる。	高齢者の多様な生き方や考え方に共感し、受容することがある程度できる。	高齢者の多様な生き方や考え方に共感し、受容することが多少できる。	高齢者の多様な生き方や考え方に共感し、受容することができない。

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W112-21				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	山本 朋子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	発達と老化の理解		後継科目						
関連科目	こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目 社会福祉主事任用資格関連科目								
授業の概要	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識を習得するとともに、中年・高齢期にみられる代表的な疾患および生活上の留意点を理解する。								
学習目標	高齢者の健康について理解する。 高齢者の症状・疾患の特徴について理解する。 高齢者に多い疾患の原因、症状、治療を知り、生活上の留意点を理解する。 保健医療職との連携の必要性やあり方についてを理解する。								
キーワード	病気、原因、症状、治療、生活上の留意								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点について理解している。								
LO-2	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点を説明できる。								
LO-3	病気に罹患することにより生じる身体的、心理的、社会的変化など関連づけながら包括的に疾患を持つ人について考えを深めることができる。								
LO-4	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点について関心を持ち意欲的に学ぶ事ができる。								
LO-5	主体的に自分の考えを述べ、他者の意見も尊重することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	30				20			100
LO-1	20	20							40
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4	10	10				10			30
LO-5						10			10
備考	試験は疾病に関する原因、症状、治療法、生活上の留意点を中心に出题します。質問やミニテストの解答等は授業で解説します。 第4章「老化にともなうこころとからだの変化と生活」や「こころとからだのしくみ」で学習した知識が所々で必要となります。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 第1節 高齢者の健康 第2節 高齢者の症状・疾患の特徴	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。第4章「老化にともなうこととからだの変化と生活」「こととからだのしくみ」で学習した内容を復習する。これまで接した人の中に授業内容に該当する人がいないか考える。また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。	90分
第2回	第3節 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 骨格系・筋系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第3回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 脳・神経系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第4回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 皮膚・感覚器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第5回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 循環器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第6回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 呼吸器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第7回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 消化器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第8回	これまでのまとめ・・・学習の整理 中間テスト	
	【予習】これまでの授業内容を学習し、中間テストの勉強をする。授業中に実施したミニテストを振り返る。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノート、中間テストを再度復習する。これまでに学んだ疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。「学習の整理」を記載し次回提出できるようにする。	90分
第9回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 腎・泌尿器系 「学習の整理」を提出	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第10回	「学習の整理」記載内容の確認。中間テストの解答。	
	【予習】テキスト、授業の資料、自分のノート、中間テストを再度復習する。これまでに学んだ疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
	【復習】腎・泌尿器系も含めテキスト内容を確認する。	90分

第11回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 内分泌・代謝系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第12回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 歯・口腔疾患 ミニテスト課題提示	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。 配布された「ミニテスト」に取り組む。分からない言葉を調べる。	90分
第13回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 悪性新生物 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 感染症	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。試験勉強	90分
第14回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 精神疾患他	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。試験勉強	90分
第15回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 その他の疾患 第4節保健医療との連携 ミニテストの解答。まとめ	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。 これまでの授業内容を確認する。理解できていないことや理解が不十分な内容について明らかにし、質問の準備をする。配布されたミニテストの解答。分からない言葉を調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、これまでの学習内容を確認し理解する。 試験勉強	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点に関する基礎的知識を十分に習得・理解している	疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点に関する基礎的知識を正しく習得・理解している	疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点に関する基礎的知識をある程度習得・理解している	疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点に関する基礎的知識を多少習得・理解している	疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点に関する基礎的知識をほとんど習得・理解していない
LO-2	疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点に関して十分に理解し、自分の言葉で説明できる	疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点に関して正しく説明できる	疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点に関してある程度説明できる	疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点に関してあまり説明できない	疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点に関して全く説明できない
LO-3	病気に罹患することにより生じる身体的、心理的、社会的変化などを関連づけながら、包括的に疾患を持つ人について考えを深めることができる	病気に罹患することにより生じる身体的、心理的、社会的変化などを関連づけながら包括的に疾患を持つ人について考えることができる	病気に罹患することにより生じる身体的、心理的、社会的変化などを関連づけながら包括的に疾患を持つ人について少し考えることができる	病気に罹患することにより生じる身体的、心理的、社会的変化などを関連づけながら、包括的に疾患を持つ人についてあまり考えることができない。	病気に罹患することにより生じる身体的、心理的、社会的変化などを関連づけながら、包括的に疾患を持つ人について考えようとしにくい。
LO-4	講義に前向きな姿勢で取り組み、受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、かなり積極的に質問している	講義に前向きな姿勢で取り組み、受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、積極的に質問している	講義に真摯な姿勢で取り組み、受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について質問している	講義に出席はするが、意欲的な姿勢に欠け、質問もなく、学ぼうという姿勢に乏しい	学習意欲がなく、遅刻・欠席が多く、消極的な態度である
LO-5	かなり主体的に自分の考えを述べ、他者の意見も尊重しながら積極的に意見交換することができる	主体的に自分の考えを述べ、他者の意見も尊重しながら意見交換することができる	他者に促されて自分の考えを述べ、他者の意見も尊重することができる	あまり自分の考えを述べる事はなく、意見交換に消極的である	自分の考えを述べる事はなく、意見交換に参加しない

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W112-30				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	林 浩靖					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般		後継科目	認知症ケア論					
関連科目	発達と老化、高齢者福祉論、介護実習、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。最新の知見を踏まえて認知症の人の心理を理解し、さまざまなケア方法を知ることによって自信を持って適切な対応ができるよう、様々な教材、ディスカッションも交えて実践力に繋がります。								
学習目標	1.認知症ケアの歴史や現状、国の施策を理解する 2.認知症の原因となる主な病気の症状や特徴を学び、それに伴うこころとからだの変化を理解する。 3.認知症の人の特性を理解し、日常生活における支援・ケアの基本について学び、共感的に理解することができる。								
キーワード	認知症 中核症状 行動・心理症状（BPSD） パーソン・センタード・ケア 認知症大綱								
テキスト・ 参考書等	「認知症の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症を取り巻く現状や歴史、認知症の原因疾患・中核症状・行動・心理症状（BPSD）、パーソン・センタード・ケアについて理解している。								
LO-2	認知症の人の心理に共感し、課題の中で、それに関する自身の思いを表現することができる。								
LO-3	それぞれの認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状にあわせた対応方法を考えることができる。								
LO-4	授業には前向きな姿勢で取り組み、新しい知識を吸収したいという思いで講義に臨んでいる。								
LO-5	相手の立場に立って考えられる姿勢が常時あり、円滑なコミュニケーションをとることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		25			25			100
LO-1	30		5			5			40
LO-2	10		5			5			20
LO-3	10		5			5			20
LO-4			5			5			10
LO-5			5			5			10
備考	その他Aは、普通の授業の中で評価します。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	認知症を取り巻く現状 実習体験を振り返り、認知症に関する授業前の自身の認知症の方への理解の状況を把握 自身の事例をワークにまとめ、グループ毎に発表し、意見交換を行う 「認知症」の意義と定義を学ぶ	
	【予習】本シラバスを読み、科目の概要や目的を抑える	60分
	【復習】自身の実習体験と他の人の体験をふりかえり、今後どのような知識が必要となるのかをまとめる 「認知症」の言葉の定義や意味を確認する	120分
第2回	認知症を取り巻く現状 認知症ケアの歴史について学ぶ(新オレンジプラン、認知症大綱など)	
	【予習】テキストP100からP109を読んでおく	60分
	【復習】テキストと配布資料より、痴呆から認知症への移り変わりの背景を確認し、現状と今後の方向性について理解を深める	120分
第3回	医学的側面から見た認知症の中核症状についての理解する テキストと配布資料をもとに説明	
	【予習】テキストP32からP39を読んでおく	60分
	【復習】配布資料をもとに、認知症の中核症状について説明できるようにする	120分
第4回	医学的側面からみた認知症の基礎 行動・心理症状(BPSD)についての理解する テキストと配布資料をもとに説明	
	【予習】テキストP47からP61までを読んでおく	60分
	【復習】中核症状と行動・心理症状の違いがわかり、説明ができる それぞれに含まれる症状について理解し、説明ができる	120分
第5回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「アルツハイマー型認知症」「血管性認知症」について理解する	
	【予習】テキストP72からP76までを読んでおく	60分
	【復習】「アルツハイマー型認知症」「血管性認知症」について理解し、説明ができる	120分
第6回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「レビー小体型認知症」について理解する	
	【予習】テキストP76からP78までを読んでおく	60分
	【復習】「レビー小体型認知症」の症状と特徴について理解し、説明ができる	120分
第7回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「前頭側頭型認知症」「その他の認知症」について理解する	
	【予習】テキストP79からP83までを読んでおく	60分
	【復習】「前頭側頭型認知症」「その他の認知症」の症状と特徴について理解し、説明ができる	120分
第8回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「若年認知症」「MCI」について理解する	
	【予習】テキストP83からP86までを読んでおく	60分
	【復習】「若年認知症」「MCI」について理解し、説明ができる	120分
第9回	医学的側面からみた認知症の基礎 認知症の診断と、認知症の評価スケールについて理解する 実際に評価スケールを実施してみる(生活障害のスケールも含む)	
	【予習】テキストP40から46、P62からP71,149から180を読んでおく	60分
	【復習】授業の資料を再確認し、認知症の診断基準や評価スケールについて理解し、説明することができる	120分
第10回	医学的側面からみた認知症の基礎 認知症類似の状態について知る。「健忘」「せん妄」「うつ病」について理解をする	
	【予習】テキストP19からP23を読んでおく	60分
	【復習】「健忘」「せん妄」「うつ病」について、それぞれの「認知症」との違いがわかり、説明ができる	120分

第11回	認知症の治療 「薬物療法」「非薬物療法」について理解する。	
	【予習】テキストP 87から P 92、217から236までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の中核症状、行動・心理症状に対する「薬物療法」「非薬物療法」について理解し、説明できる。	120分
第12回	認知症の予防について理解する。	
	【予習】テキストP 93から P 97までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の予防についてどのようなことが効果的なのか理解し、説明できる。	120分
第13回	認知症者に対するコミュニケーション方法、適切な環境調整について理解する	
	【予習】テキストP 181から P 187、P245からP256までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の進行に伴い変化する、認知症の人の心理、コミュニケーションの特徴、関わる際の留意点、環境調整などを理解する	120分
第14回	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 「パーソン・センタード・ケア」について理解をする	
	【予習】テキストP 140から P 148までを読んでおく	30分
	【復習】授業の資料を再確認し、「パーソン・センタード・ケア」の考え方を理解し、説明することができる	120分
第15回	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 総合的なまとめ DVD（認知症介護に関する内容）	
	【予習】これまで学習したテキスト範囲、資料を確認する	30分
	【復習】DVDの各場面ごとの主人公の思いや周囲の人の関わりをワークシートにまとめる	180分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	認知症ケアの基礎知識を十分に理解し、正しく説明することができる	認知症ケアの基礎知識を理解し、説明することができる	認知症ケアの基礎知識をある程度理解している	認知症ケアの基礎知識を多少覚えた	認知症ケアの基礎知識をほとんど覚えていない
LO-2	認知症の人の心理に共感し、講義で学んだ知識を応用して、与えられた課題に対して、自分の考えを具体的かつ客観的に説明することができる	認知症の人の心理に共感し、講義で学んだ知識を基に、与えられた課題に対して自分の考えを具体的かつ客観的に説明することができる	認知症の人の心理に共感し、与えられた課題に自分の考えを抽象的・主観的に説明することができる	与えられた課題に対して、自分の考えを説明することが不十分である	与えられた課題に対して、自分の考えを説明することが出来ない
LO-3	認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状に合わせた対応方法を考えることができ、説明をすることもできる	認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状に合わせた対応方法を考えることができる	認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状に合わせた対応方法を知っている	認知症の原因疾患の特徴を知っているが、認知症の人の症状に合わせた対応方法を知らない	認知症の原因疾患の特徴を理解できていない上に、認知症の人の症状に合わせた対応方法を知らない
LO-4	講義に前向きな姿勢で取り組み、疑問点などを積極的に調べたり、質問したりすることができる	講義に前向きな姿勢で取り組み、予習・復習をし、知識を習得していくことができる	講義に真摯な姿勢で取り組み、知識を習得していくことができる	講義には出席するが、意欲的に知識を学ぼうとする姿勢に乏しい	学習意欲がなく、欠席が多く、消極的な態度である
LO-5	グループワークなどをおして、メンバーと意見交換をし、理解度を確認し合い、相互に教え合ってそれぞれの知識を深めることができる	グループワークなどをおして、メンバーと意見交換を行い、理解度を確認し合い、相互に教え合って自身の知識を確認することができる	グループワークなどをおして、メンバーと意見交換を行い、知識を確認することができる	グループワークなどをおして、メンバーの理解度は把握できたが、自分自身の理解度は説明することができない	グループワークなどをおしても、メンバーの理解度や自身の理解度を説明することはできない

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W112-40				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として保健福祉センター所長、障害福祉課長として、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	障害者ケア論 生活支援技術					
関連科目	障害者福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、知的障害、精神障害等、障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
学習目標	障害の概念、障害特性の基本的理念、障害福祉制度について理解する。 それぞれの障害に関する医学的・心理的知識を習得する。 障害特性に応じたケア、環境にも配慮した介護の視点を理解し、よりよく生きるためのケアを考えることができる。								
キーワード	知的障害、精神障害、高次脳機能障害、発達障害、難病、多職種連携、家族支援								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害の概念や福祉の基本的理念を踏まえ、知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を理解する。								
LO-2	障害の概念や福祉に基本理念を踏まえ知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を説明できる								
LO-3	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、知的障害、精神障害等の特性をふまえ、支援の方法について考える思考力・判断力がある。								
LO-4	知的障害、精神障害等について、教科書以外に調べ主体的に学ぶ意欲がある。								
LO-5	知的障害、精神障害のある人を受容、共感することができる。グループワークを通して多様なメンバーの意見を尊重できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	30			10			100
LO-1	10	20							30
LO-2	10								10
LO-3	10		10						20
LO-4			10			10			20
LO-5	10		10						20
備考	その他は授業態度、受講後の感想など								



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、障害の概念とICF、障害福祉の基本的理念	
	【予習】障害の概念と障害福祉の基礎理念について障害者ケア論 のテキスト・資料を確認してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、障害者ケア論 で学ぶことについてノートを整理する。	90分
第2回	障害の基礎的理解 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、家族の心理、かかわり方の支援の理解	
	【予習】テキストをよく読み、わからないところを調べておく。	90分
	【復習】障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴について資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害の基礎的理解 第3節 障害福祉に関する諸制度、第4節障害者福祉制度と介護保険制度	
	【予習】障害者福祉制度と介護保険制度について説明できるようにしておく。	90分
	【復習】障害者福祉制度と介護保険制度について資料・ノートを整理する。	90分
第4回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 2章第1節 障害のある人の心理について理解する	
	【予習】障害のある人の心理について説明できるようにしておく。	90分
	【復習】障害のある人の心理について資料・ノートを整理する。	90分
第5回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第1節 知的障害 : 知的障害とは、障害の原因、障害の特性に応じた支援、ライフステージに応じた関わりについて理解する	
	【予習】テキストP160-P166ページをよく読み、知的障害について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第1節 知的障害 : 知的障害者の支援の実際（特別講義）	
	【予習】前回の講義内容に目を通し、知的障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第7回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第2節 精神障害 : 精神障害とは、障害の種類、障害の特性の理解、障害の特性に応じた支援について理解する。	
	【予習】 テキストP172～P182をよく読んで精神障害の種類と特性について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理し、精神障害者の支援について考える。	90分
第8回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第2節 精神障害 : 精神障害の支援の実際（特別講義）	
	【予習】前回の講義内容に目を通し、精神障害への支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第9回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第3節 高次脳機能障害 : 高次脳機能障害とは、障害の原因、障害の特性の理解、障害の特性に応じた支援について理解する	
	【予習】テキストP184～P195について、よく読んで高次脳機能障害について調べてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	第3章 障害の特性に応じた支援について理解する 第3節 高次脳機能障害 : 高次脳機能障害の支援の実際を理解する（特別講義）	
	【予習】前回の授業を振り返り、高次脳機能障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分

第11回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第4節 発達障害 : 発達障害とは、障害ごとの特性を理解する。	
	【予習】テキストP192～P202をよく読み、発達障害について調べてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第4節 発達障害 : 生活の特性と生活支援、保護者の支援、支援機関について理解する。	
	【予習】テキストP203～P209をよく読み、発達障害者の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、資料等からノートを整理する	90分
第13回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第5節 難病 : 難病とは、おもな難病の理解、難病の特性の理解、難病の特性に応じた支援について理解する。	
	【予習】テキストP210～P219をよく読んで、難病について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第14回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第5節 難病 : 難病支援の実際（特別講義）	
	【予習】テキストをよく読み、こころとからのしくみ（脳、神経）を学習する	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】1回から14回までを振り返り、障害のある人のケアについてわからないことを整理してくる。	90分
	【復習】障害のある人のケアについてまとめる	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関して基礎的知識を体系的に理解している。	知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関して基礎的知識を理解している。	知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関して基礎的知識を概ね理解している。	知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関して基礎的知識を6割程度理解している。	知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関して基礎的知識をあまり理解していない。
LO-2	知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関して基礎的知識を体系的に説明できる	知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関して基礎的知識を説明できる	知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関して基礎的知識を説明できる	知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関して基礎的知識を6割程度説明できる	知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関して基礎的知識をあまり説明できない。
LO-3	知的障害、精神障害等の特性をふまえ、支援の方法について体系的に考える思考力・判断力がある。	知的障害、精神障害等の特性をふまえ、支援の方法について考える思考力・判断力がある。	知的障害、精神障害等の特性をふまえ、支援の方法について考える思考力・判断力が概ねある。	知的障害、精神障害等の特性をふまえ、支援の方法について考える思考力・判断力がややある。	知的障害、精神障害等の特性をふまえ、支援の方法について考える思考力・判断力が不十分である。
LO-4	知的障害、精神障害等について、教科書以外に調べ主体的に学ぶ意欲がある。	知的障害、精神障害等について、主体的に学ぶ意欲がある。	知的障害、精神障害等について、学ぶ意欲がある。	知的障害、精神障害等について学ぶ意欲が少しはある。	知的障害、精神障害等について、学ぶ意欲が不十分である。
LO-5	知的障害、精神障害のある人を受容、共感することができる。グループワークを通して多様なメンバーの意見を十分尊重できる。	知的障害、精神障害のある人を受容、共感することができる。グループワークを通して多様なメンバーの意見を尊重できる。	知的障害、精神障害のある人を受容、共感することができる。グループワークを通して多様なメンバーの意見を概ね尊重できる。	知的障害、精神障害のある人を受容、共感することができる。グループワークを通して多様なメンバーの意見を少しは尊重できる。	知的障害、精神障害のある人を受容、共感することができる。グループワークを通して多様なメンバーの意見を尊重することが不十分である。

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W112-41				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として保健福祉センター所長、障害福祉課長として、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	こころとからだのしくみ ・ 、発達と老化の理解		後継科目	障害者ケア論					
関連科目	発達と老化の理解 、こころとからだのしくみ 、介護の基本 、生活支援技術 、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
学習目標	障害の概念、障害福祉の基本的理念、障害福祉制度等について理解する。 それぞれの障害特性に関する医学的・心理的知識を習得する。 障害特性に応じたケア、環境にも配慮した介護の視点を理解し、よりよく生きるためのケアを考えることができる。								
キーワード	肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語障害、内部障害								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト 「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について基礎的知識がある。								
LO-2	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について説明できる。								
LO-3	身体障害の特性をふまえ、支援について考える思考・判断がある。								
LO-4	身体障害について、教科書以外に主体的に学ぶ意欲がある・								
LO-5	身体障害の特性に応じて、尊厳を大切に作る人間性を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50	30		20			100
LO-1			10	10					20
LO-2			10	10					20
LO-3			10	10					20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他は、授業態度、グループワークでの発言等								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 肢体不自由のある人の理解	
	【予習】身体的特性の理解、障害の原因となるおもな疾患についてテキストをよく読む。からだのしくみを予習しておく。	90分
	【復習】身体障害その他の障害のある人の心理面・生活面から障害の特性に応じた支援を考え資料・ノートを整理する。	90分
第2回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第3節視覚障害のある人の理解	
	【予習】眼のしくみについて調べておく。	90分
	【復習】視覚障害のある人の心理面・生活面からあ障害の特性に応じた支援を考え資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第4節聴覚・言語障害の種類、原因、身体的・心理的・社会的側面の特性をとらえ、支援方法を理解する。	
	【予習】聴覚・言語障害の原因・種類、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】聴覚・言語障害のある人の特性を踏まえ、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第4回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章5節 重複障害のある人の原因・特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】視覚障害・重複障害、原因についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。目が見えないことからくる生活の支障を考える。	90分
	【復習】視覚障害、重複障害の特性に応じた支援について、生活上の留意点や制度・社会資源の活用についてまとめ、資料・ノートを整理する。	90分
第5回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節内部障害のある人（心臓機能障害）の原因、治療方法、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】心臓機能障害の原因、治療方法、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。からだのしくみ心臓の機能について調べる。	90分
	【復習】心臓機能障害のある人の特性と支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第6回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（呼吸機能障害）の原因、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】呼吸機能障害、原因、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。からだのしくみ呼吸機能を予習する。	90分
	【復習】呼吸機能障害の特性・支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第7回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（腎臓機能障害）の原因、治療・管理、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】腎臓機能障害の原因、治療・管理、特性についてテキストをよく読み、わからないところを調べておく。	90分
	【復習】腎臓機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第8回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害）の症状、特性を知り、支援方法を理解する	
	【予習】膀胱・直腸障害、小腸機能障害の症状、特性についてについてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第9回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（HIV・肝臓機能障害）の症状と特性、支援方法について理解する	
	【予習】HIV・肝臓機能障害の症状・特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】HIV・肝臓機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第10回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第7節 重症心身障害の特性と生活、支援方法について理解する	
	【予習】重症心身障害の分類、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】重症心身障害者の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分

第11回	第4章 連携と協働 第1節 地域のサポート体制について理解する（特別講義）。	
	【予習】テキストP224～P237をよく読んで、地域のサポート体制について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第12回	第4章 連携と協働 第2節 チームアプローチについて理解する。	
	【予習】テキストP238～P246をよく読んで、チームアプローチについて調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、チームアプローチについて考える。	90分
第13回	第5章 家族への支援 第1節 家族への支援について理解する。	
	【予習】テキストP250～P261をよく読んで家族の支援について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、家族の支援について考える。	90分
第14回	第5章 家族への支援 第2節 家族の介護力の評価と介護負担軽減について理解する。まとめ	
	【予習】テキストP262～P274をよく読んで、家族の介護力の評価について調べてくる。	90分
	【復習】家族の介護力を踏まえた支援について考える。定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】1回から14回までを振り返り、特に身体に障害のある人のケアについてわからないことを整理してくる。	90分
	【復習】特に身体に障害のある人のケアについてまとめる	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について基礎的知識がある	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について基礎的知識がおおむねある	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について基礎的知識がまあまあある。	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について基礎的知識が少しある。	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面についての基礎的知識が不十分である
LO-2	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について説明できる。	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面についておおむね説明できる。	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面についてまあまあ説明できる。	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について少し説明できる。	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面についてほとんど説明できない
LO-3	身体障害の特性をふまえ、支援について考える思考力・判断力がある。	身体障害の特性をふまえ、支援について考える思考力・判断力がおおむねある。	身体障害の特性をふまえ、支援について考える思考力・判断力がまあまあある。	身体障害の特性をふまえ、支援について考える思考力・判断力が少しある。	身体障害の特性をふまえ、支援について考える思考力・判断力が不十分である。
LO-4	身体障害について、教科書以外に調べて学ぶ意欲がある。	身体障害について、教科書以外に調べて学ぶ意欲がおおむねある。	身体障害について、学ぶ意欲がまあまあある。	身体障害について、学ぶ意欲がややある。	身体障害について、学ぶ意欲が不十分である。
LO-5	身体障害の特性に応じて、尊厳を大切に人間性を身につけている。	身体障害の特性に応じて、尊厳を大切に人間性をおおむね身につけている。	身体障害の特性に応じて、尊厳を大切に人間性をまあまあ身につけている。	身体障害の特性に応じて、尊厳を大切に人間性をやや身につけている。	身体障害の特性に応じて、尊厳を大切に人間性が不十分である。

授業科目名	社会保障論			科目コード	W121-10				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	児童家庭福祉論、地域福祉論					
関連科目	介護福祉論、ならびに高齢者福祉論、								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	わが国の社会保障制度の全体像を学ぶとともに、それがどのように機能し、私たちの暮らしをどう支えているかを理解する。 1 社会保障制度の役割と意義、仕組み 2 介護保険制度、障害者総合支援法など専門領域に関する制度								
学習目標	社会保障制度を構成する社会保険、社会福祉、あるいは社会手当など広く理解を深め、公衆衛生も含めそれぞれの現状と課題までの理解を目指す。								
キーワード	社会保障制度、介護保険、障害者の自立支援、消費者保護法、バリアフリー法								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座2「社会の理解」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識を身につけている。								
LO-2	人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技術・技能を身につけている。								
LO-3	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。</li> <li>・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。</li> </ul>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活の基本機能、ライフスタイルの変化、家族の機能と役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】地域福祉の理念、地域福祉の歴史的展開、地域福祉の充実、災害と地域社会に関して、授業内容をまとめておく。	90分
第2回	社会・組織の機能と役割、地域、地域社会、地域社会における生活支援、地域福祉の発展、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】地域共生社会を目指す社会的背景、地域共生社会の理念、地域共生社会に向けた取り組み、地域包括ケアの理念、地域包括ケアシステムについてまとめておく。	90分
第3回	地域共生社会、地位包括ケア	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】社会保障の範囲、社会保障の意義と役割、社会保障の目的と機能、ライフサイクルから見た社会保障についてまとめておく。	90分
第4回	社会保障の基本的な考え方、日本の社会保障制度の発達、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第5回	日本の社会保障制度のしくみ	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第6回	現代社会と社会保障制度、高齢者保健福祉の動向	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第7回	高齢者保健福祉に関する法体系、介護保険制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第8回	介護保険制度、介護保険制度における組織、団体の役割、介護保険制度における介護支援専門員の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第9回	障害者保健福祉の動向、障害者の定義、障害者保健福祉に関する制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第10回	障害児に対する支援制度、障害者総合支援制度の目的、障害福祉サービスの種類と内容、利用手続き	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分

第11回	障害者区分の認定、介護実践に関連する諸制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第12回	介護実践にかかわる諸制度（貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べておく。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第13回	介護実践にかかわる諸制度（地域生活を支援する制度・施策）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べておく。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第14回	これまでのまとめと振り返り（第1章～第3章）	
	【予習】第1章～第3章を読んで、理解できなかった箇所を抽出する	90分
	【復習】第1章～第3章を読んで、理解できなかった箇所を理解する	90分
第15回	これまでのまとめと振り返り（第4章～第6章）	
	【予習】第4章～第6章を読んで、理解できなかった箇所を抽出する	90分
	【復習】第4章～第6章を読んで、理解できなかった箇所を理解する	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識を身につけている。(90%以上)	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識を身につけている。(80%以上)	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識を身につけている。(70%以上)	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識を身につけている。(60%以上)	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識を身につけている。(60%未満)
LO-2	人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技術・技能を身につけている。(90%以上)	人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技術・技能を身につけている。(80%以上)	人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技術・技能を身につけている。(70%以上)	人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技術・技能を身につけている。(60%以上)	人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技術・技能を身につけている。(60%未満)
LO-3	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる思考・判断・表現の能力を身につけている。(90%以上)	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる思考・判断・表現の能力を身につけている。(80%以上)	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる思考・判断・表現の能力を身につけている。(70%以上)	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる思考・判断・表現の能力を身につけている。(60%以上)	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる思考・判断・表現の能力を身につけている。(60%未満)
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力



授業科目名	インターンシップ			科目コード	W131-20				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫 吉牟田 裕					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護事務概論		後継科目	医療事務概論、福祉ビジネス、介護福祉経営論					
関連科目									
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク、介護福祉経営士2級								
授業の概要	医療機関（病院又は診療所）や介護保険関連施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などで医療事務、介護事務、福祉ビジネス企業の見学及び体験を行う。								
学習目標	医療・介護福祉の現場において医療事務や介護事務、福祉ビジネスなどの仕事を見学し、その業務の一部を体験することによって、医療事務・介護事務の役割及び福祉ビジネス企業を理解するとともに、その仕事に必要な知識・技能・態度を身につけることをねらいとする。								
キーワード	医療機関、介護保険、サービス、請求事務、福祉ビジネス								
テキスト・ 参考書等	インターンシップ手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみ福祉ビジネスなどに関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応、福祉ビジネスに必要な技能を身につけている。								
LO-3	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		25	25			100
LO-1			10		5	5			20
LO-2			10		5	5			20
LO-3			10		5	5			20
LO-4			10		5	5			20
LO-5			10		5	5			20
備考	・ 授業態度及び出席回数にて評価								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	インターンシップオリエンテーション ・インターンシップ目的等の説明、心構えについて ・インターンシップにおける抱負について	
	【予習】事前配布した資料を読んでくること。	70分
	【復習】本日のインターンシップに関する説明の振りかえり	65分
第2回	インターンシップ先業界の動向調査 ・自動車販売業 ・介護機器、介護用品の販売、レンタル業界	
	【予習】各業界について調査をする。	70分
	【復習】調査内容をレポートにまとめる。	65分
第3回	福祉車両から自動車販売業界について理解を深める。 介護機器、用品のレンタル、販売業界について理解を深める。	
	【予習】・福祉車両について事前に調査する。 ・介護機器について事前に調査する。	70分
	【復習】・レポートにまとめる。	65分
第4回	・調剤薬局及び調剤薬局について理解を深める。 ・調剤薬局に実際に訪問して、調剤薬局の地域での役割等について理解を深める。	
	【予習】・調剤薬局及び調剤薬局について事前に調査をしてくる。	70分
	【復習】・学んだこと、理解したことをレポートにまとめる。	65分
第5回	・医療業界及び医療事務について理解を深める。 ・インターンシップ報告会での報告。	
	【予習】・医療業界及び医療事務について事前に調査をしてくる。 ・インターンシップ報告会での報告内容をまとめる。	70分
	【復習】・インターンシップ全体を通しての学び、気づき、今後の就職活動についてレポートにまとめる。	65分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみ福祉ビジネスなどに関する基礎的な知識を身につけている。(90%以上)	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみ福祉ビジネスなどに関する基礎的な知識を身につけている。(80%以上)	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみ福祉ビジネスなどに関する基礎的な知識を身につけている。(70%以上)	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみ福祉ビジネスなどに関する基礎的な知識を身につけている。(60%以上)	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみ福祉ビジネスなどに関する基礎的な知識を身につけている。(60%未満)
LO-2	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応、福祉ビジネスに必要な技能を身につけている。(90%以上)	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応、福祉ビジネスに必要な技能を身につけている。(80%以上)	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応、福祉ビジネスに必要な技能を身につけている。(70%以上)	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応、福祉ビジネスに必要な技能を身につけている。(60%以上)	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応、福祉ビジネスに必要な技能を身につけている。(60%未満)
LO-3	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。(90%以上)	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。(80%以上)	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。(70%以上)	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。(60%以上)	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。(60%未満)
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力

授業科目名	介護事務概論			科目コード	W131-30				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護事務演習					
関連科目	医療事務概論								
資格等 取得との関連	ケアクラーク技能認定試験、介護福祉士2級								
授業の概要	介護福祉に関する組織の中で働く意義、役割を理解し、介護福祉に従事する責務と倫理、介護保険法、老人福祉法に関する法規、規則についての基礎知識を習得する。介護保険制度のしくみやサービス利用、介護給付費の請求に関する知識および技術を習得する。								
学習目標	介護保険制度における介護サービス利用の流れとサービスの種類について説明できる。介護報酬の基本構造およびサービス費用の算定方法を説明できる。介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる。ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。								
キーワード	介護保険制度、介護事務、介護報酬								
テキスト・ 参考書等	授業時に資料等を配布								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの種類、介護報酬の基本知識を身につけている。								
LO-2	介護報酬の算定方法の仕組みを説明することができ、介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる基礎力を身につけている。								
LO-3	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。</li> <li>・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。</li> </ul>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ケアクラーク取得に関するガイダンス	
	【予習】ケアクラークの資格について調査してくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第2回	経営の視点から介護サービスを捉える	
	【予習】"制度ビジネス"について調査してくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第3回	介護サービスを経営の視点から捉える	
	【予習】配布教材の「介護保険と高齢者福祉の手引き」を読んでくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第4回	介護サービスを経営の視点から捉える	
	【予習】配布した教材「介護保険と高齢者福祉の手引き」を読んでくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第5回	介護報酬の仕組みの理解（介護報酬とは、介護報酬の算定構造 ～ 、介護報酬改定の流れ）	
	【予習】教材「介護報酬の仕組みの理解」を読んで、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第6回	介護報酬の仕組みの理解（介護報酬とは、介護報酬の算定構造 ～ 、介護報酬改定の流れ）	
	【予習】教材「介護報酬の仕組みの理解」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第7回	介護報酬の請求の流れ（契約、介護報酬の請求 から ）	
	【予習】教材「介護報酬の請求の流れ」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本授業時に学習した内容を振り返る。	90分
第8回	介護報酬の請求の流れ（契約、介護報酬の請求 から ）	
	【予習】教材「介護報酬の請求の流れ」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時に学習した内容を振り返る。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの
LO-2	介護報酬の算定方法の仕組みを説明することができ、介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる基礎力を身につけている。(90%以上)	介護報酬の算定方法の仕組みを説明することができ、介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる基礎力を身につけている。(80%以上)	介護報酬の算定方法の仕組みを説明することができ、介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる基礎力を身につけている。(70%以上)	介護報酬の算定方法の仕組みを説明することができ、介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる基礎力を身につけている。(60%以上)	介護報酬の算定方法の仕組みを説明することができ、介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる基礎力を身につけている。(60%未満)
LO-3	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。(90%以上)	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。(80%以上)	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。(70%以上)	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。(60%以上)	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。(60%未満)
LO-4	人や現代社会の動向に関心に向けてることができる。自分のこととして課題に取り組みむ力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心に向けてることができる。自分のこととして課題に取り組みむ力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心に向けてることができる。自分のこととして課題に取り組みむ力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心に向けてることができる。自分のこととして課題に取り組みむ力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ	人や現代社会の動向に関心に向けてることができる。自分のこととして課題に取り組みむ力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができ
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力

授業科目名	介護事務演習			科目コード	W131-31					
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	松島 紘子 小平 達夫							
実務経験										
開講時期	1年後期	授業の方法	演習							
必修・選択	選択	単位数	1単位							
前提科目(知識)		後継科目								
関連科目	介護事務概論、福祉ビジネス、介護福祉経営論									
資格等 取得との関連	ケアクラーク技能認定試験									
授業の概要	介護報酬請求の仕組みと算定方法を基礎から学習し、報酬明細書(レセプト)の書き方、制度の理解とその運用について習得を図る。									
学習目標	ケアプランの記載事項を把握できるようにする。 ケアプランから介護報酬明細書(レセプト)が作成できるようにする。									
キーワード	介護事務、レセプト、介護報酬(加算・減算含む)									
テキスト・ 参考書等	介護事務講座 介護保険請求事務テキスト1 社会福祉と人間関係テキスト2 介護保険請求実務別冊(ニチイ学館)									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果									
LO-1	介護事務に必要な介護報酬の知識を身につけている。									
LO-2	窓口対応に必要な接遇や介護報酬請求業務に必要な技術を身につけている。									
LO-3	多職種連携チームの一員として、介護経営の視点から介護報酬について考える力を身につけている。									
LO-4	介護業界の動向に関心を向け、主体的に学び続けることができる。									
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。									
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計	
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C		
総合評価(割合)	75					25			100	
LO-1	15					5			20	
LO-2	15					5			20	
LO-3	15					5			20	
LO-4	15					5			20	
LO-5	15					5			20	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他Aは、平常点(授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート)より評価します。</li> <li>・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。</li> </ul>									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護保険制度(1)介護保険法(2)介護保険制度の仕組み(3)要介護認定から介護サービス計画書の作成まで(4)介護支援専門員(5)予防給付費・介護給付費の算定	
	【予習】介護保険制度について理解してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第2回	介護事務業務(1)介護事務職員の役割(2)介護報酬請求業務(3)指定申請事務(4)介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱い	
	【予習】介護事務について理解してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第3回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】介護報酬について理解してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第4回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第5回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第6回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第7回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第8回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第9回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第10回	介護報酬請求事務(1)居宅サービス介護給付明細書の作成(2)施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

第11回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第12回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第13回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第14回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第15回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護事務に必要な診療報酬の知識を身につけている。(90%以上)	介護事務に必要な診療報酬の知識を身につけている。(80%以上)	介護事務に必要な診療報酬の知識を身につけている。(70%以上)	介護事務に必要な診療報酬の知識を身につけている。(60%以上)	介護事務に必要な診療報酬の知識を身につけている。(60%未満)
LO-2	窓口対応に必要な接遇や介護報酬請求業務に必要な技術を身につけている。(90%以上)	窓口対応に必要な接遇や介護報酬請求業務に必要な技術を身につけている。(80%以上)	窓口対応に必要な接遇や介護報酬請求業務に必要な技術を身につけている。(70%以上)	窓口対応に必要な接遇や介護報酬請求業務に必要な技術を身につけている。(60%以上)	窓口対応に必要な接遇や介護報酬請求業務に必要な技術を身につけている。(60%未満)
LO-3	多職種連携チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考える力を身につけている。(90%以上)	多職種連携チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考える力を身につけている。(80%以上)	多職種連携チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考える力を身につけている。(70%以上)	多職種連携チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考える力を身につけている。(60%以上)	多職種連携チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考える力を身につけている。(60%未満)
LO-4	介護業界の動向に関心に向け、主体的に学び続けることができる。(90%以上)	介護業界の動向に関心に向け、主体的に学び続けることができる。(80%以上)	介護業界の動向に関心に向け、主体的に学び続けることができる。(70%以上)	介護業界の動向に関心に向け、主体的に学び続けることができる。(60%以上)	介護業界の動向に関心に向け、主体的に学び続けることができる。(60%未満)
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力



授業科目名	キャリアデザイン演習			科目コード	W141-20				
科目区分	専門科目 - キャリア支援	担当教員名	小平 達夫 関 好博 井上 理絵						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	職業人として知識・技術・熱意の3条件が必要です。知識については、社会経験で培われた実践的	後継科目	なし						
関連科目									
資格等 取得との関連	卒業要件に係る資格取得全て								
授業の概要	自分は何をしたいのか、どのような仕事をしたいのか、将来なりたい自分に向けてキャリアプランを描きます。また、仕事をするうえで必要な社会人基礎力を理解し、社会での活用を目指す。また自分のキャリア形成の幅を広げるために社会福祉分野、介護分野、ビジネス分野より自分の進路を考える。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分の将来設計（ライフプラン）を考え、明らかにする。</li> <li>2. 自分自身を分析し、特別講座をとおして、自分に適した仕事・職場を見つける。</li> <li>3. 社会人としてのマナーを身につける。</li> <li>4. ビジネス文書について理解を深める。</li> </ol>								
キーワード	キャリアプラン、接遇、ビジネス文書、人間関係、キャリア形成								
テキスト・ 参考書等	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会人としての一般的常識、ルール・マナー等に関する社会人基礎力身につけている。								
LO-2	自分の人生を主体的に捉え、自己実現に向けた表現力を身につけている。								
LO-3	自分人の人生を主体的に捉え、自身の思考力、判断力をもって自分のキャリア形成を行う力を身につけている。								
LO-4	自分人の人生を主体的に捉え、自身のキャリア形成に対して意欲をもって学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75		15			25			115
LO-1	15		15			5			35
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。</li> <li>・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。</li> </ul>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（介護福祉士資格について多方面により考える）介護福祉士での世界での活躍の場においてベトナムの事例から考える。また、外国人介護士との協働について考える。	
	【予習】各種媒体にて、社会で求められる人材について調査する。	30分
	【復習】今後社会で求められる人材について、再度理解を深め、日常生活の中で実践する。	30分
第2回	キャリアと仕事へのアプローチ（働く意識・仕事への取り組み方・会社の基本とルール）と仕事の基本となる8つの意識（顧客意識・品質意識・納期意識・時間意識・目標意識・協調意識・改善意識・コスト意識）コミュニケーションとビジネスマナーの基本と指示の受け方と報告・連絡・相談	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第3回	話し方と聞き方のポイントと来客対応と訪問の基本マナー	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第4回	会社関係でのお付き合い等	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第5回	仕事への取り組み方	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第6回	ビジネス文書の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第7回	電話応対	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第8回	統計・データの読み方・まとめ方	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第9回	情報収集とメディアの活用	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第10回	会社を取り巻く環境と経済の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分

第11回	特別講座 学科長講話	
	【予習】自分の興味のある進路先及びその業界について調査してくる。	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第12回	特別講座 福祉分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第13回	特別講座 介護分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第14回	特別講座 福祉ビジネス分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業の振り返りをしてくる。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分

### 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	社会人としての一般的常識、ルール・マナー等に関する社会人基礎力身につけている。(90%以上)	社会人としての一般的常識、ルール・マナー等に関する社会人基礎力身につけている。(80%以上)	社会人としての一般的常識、ルール・マナー等に関する社会人基礎力身につけている。(70%以上)	社会人としての一般的常識、ルール・マナー等に関する社会人基礎力身につけている。(60%以上)	社会人としての一般的常識、ルール・マナー等に関する社会人基礎力身につけている。(60%未満)
LO-2	自分の人生を主体的に捉え、自己実現に向けた表現力を身につけている。(90%以上)	自分の人生を主体的に捉え、自己実現に向けた表現力を身につけている。(80%以上)	自分の人生を主体的に捉え、自己実現に向けた表現力を身につけている。(70%以上)	自分の人生を主体的に捉え、自己実現に向けた表現力を身につけている。(60%以上)	自分の人生を主体的に捉え、自己実現に向けた表現力を身につけている。(60%未満)
LO-3	自分人の人生を主体的に捉え、自身の思考力、判断力をもって自分のキャリア形成を行う力を身につけている。(90%以上)	自分人の人生を主体的に捉え、自身の思考力、判断力をもって自分のキャリア形成を行う力を身につけている。(80%以上)	自分人の人生を主体的に捉え、自身の思考力、判断力をもって自分のキャリア形成を行う力を身につけている。(70%以上)	自分人の人生を主体的に捉え、自身の思考力、判断力をもって自分のキャリア形成を行う力を身につけている。(60%以上)	自分人の人生を主体的に捉え、自身の思考力、判断力をもって自分のキャリア形成を行う力を身につけている。(60%未満)
LO-4	自分人の人生を主体的に捉え、自身のキャリア形成に対して意欲をもって学び続けることができる。(90%以上)	自分人の人生を主体的に捉え、自身のキャリア形成に対して意欲をもって学び続けることができる。(80%以上)	自分人の人生を主体的に捉え、自身のキャリア形成に対して意欲をもって学び続けることができる。(70%以上)	自分人の人生を主体的に捉え、自身のキャリア形成に対して意欲をもって学び続けることができる。(60%以上)	自分人の人生を主体的に捉え、自身のキャリア形成に対して意欲をもって学び続けることができる。(60%未満)
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力

授業科目名	総合的研究			科目コード	W151-10				
科目区分	専門科目 - 総合支援 - 研究		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	1年後期・2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	短期大学士（介護福祉学）								
授業の概要	社会福祉、介護福祉および生活福祉についての2年間の学習の中で、各自が触発されたテーマについて、より深く掘り下げた主体的調査研究としておこなうものです。各テーマの専門ごとに専任教員全員が分担して、個別的・継続的に指導し、研究成果をレポートにまとめ、報告会で発表します。								
学習目標	介護福祉専門職として必要な研究態度や自己研鑽・自己啓発の能力を養うこと目的としています。また、高齢者や障害者の介護や、介護福祉士としてのあり方について理解を深めてもらうことを目標としています。								
キーワード	主体的、調査、社会福祉、介護福祉、生活福祉								
テキスト・ 参考書等	総合的研究報告集バックナンバー(学内専用)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の多様な価値観、社会のしくみ、文化を理解し、幅広い教養を習得している。また、社会概念の基礎を理解し、介護実践に必要な専門的知識を習得している。								
LO-2	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法を身につけている。								
LO-3	福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる。								
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに関心を持ち、自己研鑽・自己啓発能力を身につけている。また、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				80	10	10			100
LO-1				20					20
LO-2				10	10				20
LO-3				20					20
LO-4				20					20
LO-5				10		10			20
備考	その他Aは、研究を進める際の研究グループ内での協調・協働を評価する								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	全体オリエンテーション(科目の概要説明、グループ分け)	
	【予習】	30分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(1)	45分
第2回	分野別オリエンテーション(授業の年間計画の説明、グループ分けの再確認)	
	【予習】	30分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(2)	45分
第3回	研究テーマの確定1(分野ごとに希望研究テーマの内容を確認)	
	【予習】研究テーマを考える	45分
	【復習】	30分
第4回	研究テーマの確定2(リーダー、サブリーダー選出、研究テーマとグループを確定)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(3) 研究テーマの深化	45分
	【復習】	30分
第5回	研究テーマの確定3(研究テーマとグループの全体調整)	
	【予習】	30分
	【復習】研究計画の立案準備	45分
第6回	調査研究の方法1(調査方法及びレポート構成の指導・講義)	
	【予習】	30分
	【復習】調査方法及びレポート構成を理解する	45分
第7回	調査研究の方法2(グループ別文献検索指導)	
	【予習】	30分
	【復習】文献検索の方法に習熟する	45分
第8回	研究計画の立案1(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】	30分
	【復習】研究計画の作成1	45分
第9回	研究計画の立案2(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】	30分
	【復習】研究計画の作成2	45分
第10回	調査の準備と実施1(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分

第11回	調査の準備と実施2(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査の準備または実施	45分
第12回	調査の準備と実施3(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査の準備または実施	45分
第13回	中間まとめの準備1(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】	30分
	【復習】 ポスター作製	45分
第14回	中間まとめの準備2(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】	30分
	【復習】 ポスター作製	45分
第15回	中間まとめの準備3(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】 中間まとめの資料作成	45分
	【復習】	30分
第16回	中間まとめ	
	【予習】 中間まとめの資料作成	45分
	【復習】	30分
第17回	中間発表の準備1(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第18回	中間発表の準備2(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第19回	中間発表の準備3(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第20回	結果の整理と考察(調査結果の整理と考察、追加調査の実施など)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	45分

第21回	記録集の作成 (作成準備ならびに執筆開始)	
	【予習】	30分
	【復習】 記録集作成準備ならびに執筆	45分
第22回	原稿提出 (完成原稿とデータを提出)	
	【予習】 記録集作成準備ならびに執筆	45分
	【復習】	30分
第23回	原稿の校正1	
	【予習】	30分
	【復習】 1校の完了	45分
第24回	原稿の校正2	
	【予習】	30分
	【復習】 2校の完了	45分
第25回	原稿の校正3	
	【予習】	30分
	【復習】 3校の完了	45分
第26回	原稿の校正4	
	【予習】	30分
	【復習】 4校の完了	45分
第27回	発表会の準備1 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】	30分
	【復習】 発表の練習	45分
第28回	発表会の準備2 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】	30分
	【復習】 発表の練習	45分
第29回	発表会リハーサル	
	【予習】	30分
	【復習】 リハーサルの総括、発表原稿などの改善	30分
第30回	発表会(口頭発表)	
	【予習】 発表の練習	45分
	【復習】	30分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	幅広い教養を習得し、社会概念を理解し、介護実践に必要な専門的知識を大いに習得している	適度な教養を習得し、社会概念の基礎を理解し、介護実践に必要な専門的知識を習得している	教養を習得し、社会概念の基礎をおおむね理解し、介護実践に必要な専門的知識をおおむね習得している	ある程度のレベルで、教養を習得し、社会概念の基礎を理解し、介護実践に必要な専門的知識を習得している	教養に欠け、社会概念への理解がなく、介護実践に必要な専門的知識にも欠けている
LO-2	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法を十分身につけている	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法を身につけている	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法をおおむね身につけている	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法をある程度身につけている	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法が身につけていない
LO-3	福祉分野の諸課題を発見に優れ、研究方法を用いて十分考察することができる	福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる	おおむね、福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる	ある程度、福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる	福祉分野の諸課題を見いだせず、研究・考察することができない
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに高い関心を持ち、自己研鑽・自己啓発能力を十分に身につけている	社会的状況や福祉の動向などに関心を持ち、自己研鑽・自己啓発能力を身につけている	社会的状況や福祉の動向などにやや関心を持ち、自己研鑽・自己啓発能力をおおむね身につけている	ある程度、社会的状況や福祉の動向などに関心を持ち、自己研鑽・自己啓発能力を身につけている	社会的状況や福祉の動向などに関心がなく、自己研鑽・自己啓発能力が身につけていない
LO-5	円滑なコミュニケーションの取り方を身につけ、他者とうまく協調、協働して行動することができる	円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる	おおむね、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる	ある程度、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる	コミュニケーションの取り方の基本がなく、他者と協調、協働して行動することができない



授業科目名	健康福祉論			科目コード	W511-10				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験	地域密着型通所介護施設による半日型・機能訓練特化型通所介護施設に5年間勤務した実務経験を通し、介護福祉士として従事する者に関わる運動・健康・福祉・スポーツの分野について基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	運動と健康					
関連科目	健康スポーツ、アクティビティ概論								
資格等 取得との関連	公認初級パラスポーツ指導員								
授業の概要	健康とは何か、そして福祉との関わりとともに、健康支援・介護予防を中心とした福祉の隣接領域とのつながりと福祉・介護の現場や地域の実践的な入口を学ぶ科目です。								
学習目標	健康とは何か、そして福祉との関わりとともに、健康、運動、スポーツを中心とした福祉の隣接領域の概況を理解する。								
キーワード	健康長寿 運動 スポーツ 福祉								
テキスト・ 参考書等	なし。適宜プリントを配布予定。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】障害を持つ持たないに関わらず、すべての人の健康に関する知識を身に付けている。								
LO-2	【技能】健康への阻害要因を見だし、問題の改善計画を立てる技能を身に付けている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】誰もがいきいきと生きることができる、健康的な暮らしのあり方を考える力を身に付けている。								
LO-4	【関心・意欲・態度】誰もが安心して暮らし続けることのできる社会をつくることへの意欲を身に付けている。								
LO-5	【人間性・社会性】健康な暮らしのために社会的な方策を生み出し、積極的に前向きな社会努力をする人間性を身に付けている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60				40			100
LO-1		60							60
LO-2						10			10
LO-3						10			10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	小テスト(60%)、リアクションペーパーや学修意欲、その他による(40%)総合評価です。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 我が国の寿命と健康寿命について-	
	【予習】健康とはどういう状態を指すか、各々の考えをしておく。	90分
	【復習】授業内容やメモをまとめる	90分
第2回	多様なスポーツ、運動の価値を考える 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】スポーツの楽しみ方や、参加の仕方など考えておく。	90分
	【復習】授業内容やメモをまとめる	90分
第3回	ウェルビーイングにおける運動、スポーツ	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	90分
	【復習】授業内容やメモをまとめる	90分
第4回	持続可能な開発目標(SDGs)における健康、スポーツ	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	90分
	【復習】授業内容・メモ類をまとめる	90分
第5回	健康格差、スポーツ格差と健康福祉の役割	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	90分
	【復習】留意点を整理しておく	90分
第6回	1~5の総括と留意点のまとめ	
	【予習】該当回の配布資料とメモ類をよく読んでおく	90分
	【復習】留意点を整理しておく	90分
第7回	eスポーツの状況 - 期待と課題を考える	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	90分
	【復習】授業内容・メモ類をまとめる	90分
第8回	健康と福祉に関わる余暇活動	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	90分
	【復習】授業内容、メモを整理しておく	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	障害を持つ持たないに関わらず、すべての人の健康に関する知識を社会背景や用語の意味の理解とともに身に付けている。	障害を持つ持たないに関わらず、すべての人の健康に関する知識を体系的に理解し、身に付けている。	障害を持つ持たないに関わらず、すべての人の健康に関する知識を授業内容を踏まえてある程度は身に付けている。	障害を持つ持たないに関わらず、すべての人の健康に関する知識を授業の半分程度は身に付けている。	障害を持つ持たないに関わらず、すべての人の健康に関する知識を、授業の半分以下だが身に付けている。
LO-2	健康への阻害要因を見だし、問題の改善計画を立てる技能を社会背景や用語の意味も理解とともに身に付けている。	健康への阻害要因を見だし、問題の改善計画を立てる技能を体系的に身に付けている。	健康への阻害要因を見だし、問題の改善計画を立てる技能を、ある程度は身に付けている。	健康への阻害要因を見だし、問題の改善計画を立てる技能を、授業の半分程度は身に付けている。	健康への阻害要因を見だし、問題の改善計画を立てる技能を、授業の半分以下だが身に付けている。
LO-3	誰もがいきいきと生きることができ、健康的な暮らしのあり方を考える力を、その社会的背景や用語の意味の理解とともに身に付けている。	誰もがいきいきと生きることができ、健康的な暮らしのあり方を考える力を体系的に身に付けている。	誰もがいきいきと生きることができ、健康的な暮らしのあり方を考える力をある程度は身に付けている。	誰もがいきいきと生きることができ、健康的な暮らしのあり方を考える力を授業の半分程度は身に付けている。	誰もがいきいきと生きることができ、健康的な暮らしのあり方を考える力を、授業の半分以下だが身に付けている。
LO-4	誰もが安心して暮らし続けることのできる社会をつくることへの意欲を、社会的背景や用語の意味の理解とともに身に付けている。	誰もが安心して暮らし続けることのできる社会をつくることへの意欲をバランスよく身に付けている。	誰もが安心して暮らし続けることのできる社会をつくることへの意欲がある程度は身に付けている。	誰もが安心して暮らし続けることのできる社会をつくることへの意欲を、授業から期待する半分程度は身に付けている。	誰もが安心して暮らし続けることのできる社会をつくることへの意欲を、授業から期待する半分以下だが身に付けている。
LO-5	健康な暮らしのために社会的な方策を生み出し、積極的に前向きな社会努力をする人間性を身に付けている。	健康な暮らしのために社会的な方策を生み出し、積極的に前向きな社会努力をする人間性を、期待する9割程度は身に付けている。	健康な暮らしのために社会的な方策を生み出し、積極的に前向きな社会努力をする人間性を、期待する8割程度は身に付けている。	健康な暮らしのために社会的な方策を生み出し、積極的に前向きな社会努力をする人間性を、7割程度は身に付けている。	健康な暮らしのために社会的な方策を生み出し、積極的に前向きな社会努力をする人間性を、授業の5割以下だが身に付けている。

授業科目名	運動と健康			科目コード	W511-20				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	アクティビティ概論					
関連科目	健康スポーツ 健康福祉論								
資格等 取得との関連	公認初級パラスポーツ指導員 ウォーキングトレーナー								
授業の概要	学生生活を通し健康・体力を維持するための基礎理論と関わる諸問題について学ぶ。また、健康支援や介護予防、世代間交流など広く活用できる体操プログラムの考案を通し、実践方法論を学習します。								
学習目標	学生生活の健康課題、生活習慣病や介護予防に関わる基礎的な事項として運動・身体活動の重要性を理解する。また、健康・福祉・介護に活用できる体操プログラムの実践的方法論を理解する。								
キーワード	運動、体力、スポーツ、健康、健康体操プログラム								
テキスト・ 参考書等	ウォーキングトレーナー養成講習会テキスト(第6版)、メディカル・フィットネス協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】健康・体力を維持するための運動やスポーツの必要性を理解している。目的にあわせた健康・体力づくりの理論と方法について理解している。								
LO-2	【技能】個人の健康・体力づくりに必要な情報を適切に評価し、自らの健康・体力づくりを行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】現代的なスポーツ・健康に関する問題を捉え、その実践的な問題解決の方法を主に身体活動・運動の視点から考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分のコンディションについての関心を高めさらに維持・向上させようとするすることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループでのディスカッションなど仲間と共に活動することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		70				30			100
LO-1		20							20
LO-2		30							30
LO-3		20							20
LO-4						15			15
LO-5						15			15
備考	小テストを行う。ミニツペーパーより質問等に答える。 その他：A LO-4・LO-5 課題への取組による関心度から考慮する。授業態度(グループへの関与)の参加度とする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	スポーツに求められるもの - インテグリティ、スポーツマンシップ - 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】授業の概要、評価方法、を整理しておくこと	45分
第2回	体力とは何か、体力トレーニング	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第3回	筋収縮の種類とエネルギー代謝の経路	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第4回	有酸素運動と自分に合った運動強度 ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】テキストを読んでおく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第5回	1～4回目のまとめと確認	
	【予習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
	【復習】配布資料で振り返る	45分
第6回	運動の学習効果	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第7回	健康体操プログラムの方法論(1)	
	【予習】各世代がともに楽しく実施できる体操を調べておく	45分
	【復習】ワークシートを整理して、実施できるようにしておく	45分
第8回	健康体操プログラムの方法論(2)	
	【予習】作成プログラムを実施できるようにしておく	45分
	【復習】ワークシートを完成させる。	45分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	講義内容を十分に理解し、小テストの正答率が90%以上。健康・体力に関する評価が適切に行える。	講義内容を理解し、小テストの正答率が80%以上。健康・体力に関する評価が概ね適切に行える。	講義内容をおおよそ理解し、小テストの正答率が70%以上。健康・体力に関する評価が行える。	講義内容の理解はやや不十分で、小テストの正答率が60%以上。健康・体力に関する評価がやや不十分。	講義内容の理解が不十分で、小テストの正答率が60%以下。健康・体力に関する評価が適切に行えない。
LO-2	健康・体力づくりに関する意義を十分理解し、その評価を基に適切な実践を行うことができる。	健康・体力づくりに関する意義を理解し、その評価を基に実践を行うことができる。	健康・体力づくりに関する意義を理解しているが、その評価を実践に十分活かすことができない。	健康・体力づくりに関する意義の理解が不十分で、その評価を実践に活かすことができない。	健康・体力づくりに関する意義の理解、その評価が不十分で、実践に活かすことができない。
LO-3	スポーツや健康に関する問題に対し、その解決の方法を主に身体活動・運動の視点から適切に考えることができる。	スポーツや健康に関する問題に対し、その解決の方法を主に身体活動・運動の視点から考えることができる。	スポーツや健康に関する問題に対し、その解決の方法について自分なりに考えることができる。	スポーツや健康に関する問題に対し、その解決の方法についての考えが不十分である。	スポーツや健康に関する問題の認識や、その解決の方法についての考えが示されていない。または誤ってなされている。
LO-4	自分のコンディションについてよく知っており、さらに維持・向上させようと努力している。普段から明るく元気に安定した受講態度である。	自分のコンディションについてよく知っており、さらに維持・向上させようとしている。普段から明るく安定した受講態度である。	自分のコンディションについてよく知っている。明るく安定した受講態度である。	自分のコンディションについてあまりよく知っていない。安定した受講態度ではない。	自分のコンディションについて関心を持たない。受講態度は不安定である。
LO-5	誰とでも協調性をもって活動に取り組み前向きな考えを導き出し課題解決をすることができる	協調性をもって活動に取り組み課題解決をすることができる	協調性をもって活動に取り組むことができる。	協調性に欠け仲間と作業することが不十分である	仲間と一緒に活動ができない。

授業科目名	健康スポーツ			科目コード	W511-21				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	無し		後継科目	アクティビティ概論					
関連科目	運動と健康								
資格等 取得との関連	公認初級パラスポーツ指導員 ウォーキングトレーナー								
授業の概要	各自が生涯にわたり身体を動かすことを楽しみ、学生生活をより健康に生活できるようになるための授業を行う。授業はレクリエーションやパラスポーツを中心に行い、ストレッチやヨガを実践し心地よさを感じるようなプログラムを行なう。さらに学外においてウォーキングの実施、パラスポーツ大会での交流を通し資格取得をめざす。								
学習目標	スポーツやそのほかの運動を通じて、楽しさや体を動かす心地よさを感じられるようにする。スポーツや運動を授業だけではなく学生時代の一部として取り入れ、生涯の健康づくりに運動を嗜む意識を身に付けましょう。								
キーワード	心地よさ 運動の機会 健康づくり レクリエーション パラスポーツ ウォーキング								
テキスト・ 参考書等	ウォーキングトレーナー養成講習会テキスト(第6版)、メディカル・フィットネス協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】健康が活動の土台であることを理解し、自ら健康の維持・向上に努めようとする。身体への適切な負荷のかけ方や自身の身体への対話方法を見つけるように努める。								
LO-2	【技能】ボールや用具の使い方において基本的な技術を身につける。自分に合った運動強度を知りその維持・向上に努める。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】チームプレーでの課題を見出しその解決に努められるようにする。苦手な運動要素についてその課題を克服できるような方法を知る。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分の身体を知り維持・向上させることにより自己肯定感が高まる。仲間とともに活動することにより互いを認め合い粘り強く取り組めるようになる。								
LO-5	【人間性・社会性】健全な友達関係を構築し、その他の授業においても互いに尊重し合う活動できるようにする。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						10			10
LO-2						50			50
LO-3						5			5
LO-4						5			5
LO-5						30			30
備考	その他Aについて：LO1.5は、ミニツッパーパー及び活動の状況を見て総合的に判断する。LO3.4は、チームプレーでの勝敗や活動の主体性を見て判断する。LO2は、ボール操作技術、基礎的な運動についての能力向上の状態を見て評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、ストレッチングの導入、レクワーク ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】内履きシューズ、運動着を準備しておく。コンディションを整えておく	20分
	【復習】学生のしおりとシラバスを確認する	25分
第2回	ソフトバレーボール(1)	
	【予習】チームを作るので、メンバーを確認しておくこと	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第3回	ソフトバレーボール(2)	
	【予習】チーム対抗戦の実施予定 ルールの確認をしておく	20分
	【復習】チームのメンバーと次回に向けたミニ・ミーティングをし、各班でメモをし共有する。	25分
第4回	キンボール 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】水分を補給し、熱中症の予防と疲労回復に努める	25分
第5回	ポッチャ 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】水分を補給し、熱中症の予防と疲労回復に努める	25分
第6回	障害のある人とのバラスポーツ交流(1) - 障害者スポーツ大会での運営を通して - 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】大会の行程や開催場所を調べておく	20分
	【復習】どのようなアスリートが参加していたか、運営スタッフとの関わりなど振り返る。	25分
第7回	障害のある人とのバラスポーツ交流(2) - 障害者スポーツ大会での運営を通して - 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】6回目と同じ	20分
	【復習】6回目と同じ	25分
第8回	ヨガ教室	
	【予習】ヨガの目的と効果について調べておく。ヨガマットまたは身長大のバスタオルを準備する。	20分
	【復習】インストラクターよりの説明をノートに整理する。ポーズを自宅で復習する。	25分
第9回	バドミントン(1) 基本の打ち方 ゲーム(ダブルス)の進め方の確認と練習	
	【予習】バドミントンについて興味をもって技術練習やゲーム方法を調べる	20分
	【復習】ルール、試合の進行、コートの準備片付けを整理しておく	25分
第10回	バドミントン(2) ゲーム(ダブルス)の実践(1)	
	【予習】様々な打ち方とその方法を調べておく。	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分



第11回	バドミントン(3) ゲーム(ダブルス)の実践	
	【予習】ダブルスのゲームの進め方を予習しておくこと	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第12回	ショート・テニス/フレッシュ・テニス(1)	
	【予習】基本の打ち方と試合方法を整理・練習しておく	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第13回	ショート・テニス/フレッシュ・テニス(2)	
	【予習】グループ対抗戦のため、チームメンバーを確認しておくこと	20分
	【復習】授業全体を振り返り、自身の日常に活用/応用できるスポーツ活動を考える	25分
第14回	ウォーキング(1) -ウォーキングとノルディックウォーキングの歩き方- ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第15回	ウォーキング(2) -ノルディックウォーキング- ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】14回目と同じ	20分
	【復習】14回目と同じ	25分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	健康の大切さを理解し、日常生活においても規則正しい生活やバランスの取れた食事を行い授業においても非常に活動的である。	健康の大切さを理解し、日常生活において規則正しい生活ができ、授業においても活動的である。	健康の大切さを理解している。授業において仲間の助けで活動ができる。	健康の大切さにおいては理解不足であるが、授業において仲間の助けで活動ができる。	健康の大切さを理解しておらず授業においても集中できないことがある。
LO-2	ボールや道具の操作が非常に優れている。基本的な運動能力が身につけており自分の能力にあった維持・向上ができる。	ボールや道具の操作が優れている。基本的な運動能力が身につけており自分の能力にあった維持・向上ができる。	ぎこちない動きではあるがボールや道具の操作ができる。基本的な運動能力を身につけようとしている。	基本的な運動能力が不十分であるが、維持・向上に努めている。	基本的な運動能力が不十分であり、その能力を高めようとしにくい。
LO-3	チームや個人の能力の課題を見つけ、その問題解決に努めようとしている。苦手な能力についても前向きに努められる。	個人の能力の課題を見つけ、その問題解決に努めようとしている。苦手な能力についても前向きに努められる。	チームや個人の能力の課題を見つけることができる。仲間の力を借りてであれば問題解決に努められる。	苦手な能力や課題が見つけれないが、仲間の援助があれば課題解決ができる。	仲間の援助があっても課題解決ができない。
LO-4	自分の身体に関心があり、その能力を高めようと日常生活から日々努力できる。そのことによりさらに自己肯定感が高められている。	自分の身体に関心があり、その能力を高めようと努力できる。そのことにより自己肯定感が高められている。	自分の身体に関心がある。援助があれば能力向上に向けた努力ができる。	自分の身体に関心があるが能力向上に向けた努力がでない。	自分の身体について関心がない。
LO-5	健全な仲間づくりを構築できる。誰とでもチームを組んで楽しく活動ができる。	健全な仲間づくりを構築できる。チームを組んで楽しく活動ができる。	比較的健全な仲間づくりを構築できる。安全な活動ができる。	協調性に欠けるが活動ができる。	協調性にかけ仲間と活動ができない。

授業科目名	コミュニケーション論			科目コード	W521-20				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	コミュニケーション技術 ・								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士指定科目								
授業の概要	自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。								
学習目標	対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する。								
キーワード	自己覚知、他者理解、ラポール、自己開示、パーソナリティ、グループダイナミックス、アサーティブネス、ポライトネス、パーソナルスペース、バリエーションの原則、マイクロカウンセリング、感情の転移、容、共感、傾聴、言語的コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 1 人間の理解								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解できている。								
LO-2	【技能】コミュニケーション技法の基礎を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力等を備えている。								
LO-4	【関心・意欲・態度】対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につけることへ関心や意欲を有している。								
LO-5	【人間性・社会性】福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。</li> <li>・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。</li> </ul>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間の尊厳と利用者主体、人権思想の潮流とその具現化、人権や尊厳に関する日本の諸規定等	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第2回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷、社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷等	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第3回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷、人権尊重と権利擁護	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第4回	自立の概念の多様性、自立とは	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第5回	対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第6回	介護を必要とする人の自立と自立支援	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第7回	介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係、人間の誕生と介護の関係、自分と他者の理解	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第8回	自分と他者の理解、発達心理学から見た人間関係	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第9回	社会心理学から見た人間関係	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第10回	人間関係とストレス	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分

第11回	コミュニケーションの概念、コミュニケーションの基本概念、コミュニケーションの基本構造、コミュニケーションの手段	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第12回	コミュニケーションの手段	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第13回	対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション、対人援助における基本的態度	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第14回	援助的人間関係の形成とパットンの7つの原則	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第15回	組織におけるコミュニケーション	
	【予習】これまでの授業をふり返ってくる。	90分
	【復習】ノートの整理をとおして授業で学んだことをまとめる。	90分

### 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解できている。	人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能がある程度理解できている。	人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を少し理解できている。	人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能をやや理解できている。	人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能をあまり理解できていない。
LO-2	コミュニケーション技法の基礎を十分に身につけている。	コミュニケーション技法の基礎を身につけている。	コミュニケーション技法の基礎をいくらかは身につけている。	コミュニケーション技法の基礎をわずかに身につけている。	コミュニケーション技法の基礎を身につけていない。
LO-3	介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力等を十分に備えている。	介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力等を備えている。	介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力等をいくらか備えている。	介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力等をわずかに備えている。	介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力等を備えていない。
LO-4	対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につけることへ関心や意欲を十分に有している。	対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につけることへ関心や意欲を有している。	対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につけることへ関心や意欲がある程度有している。	対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につけることへ関心や意欲をやや有している。	対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につけることへ関心や意欲を有していない。
LO-5	福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を十分に備えている。	福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を備えている。	福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を少し備えている。	福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を少し備えている。	福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を備えていない。

授業科目名	チームマネジメントの基礎			科目コード	W521-21				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	コミュニケーション論、コミュニケーション技術I、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	ヒューマンサービスとしての介護サービスの特徴を踏まえ、チーム運営の基本や人材育成の管理法の基礎を学ぶ。								
学習目標	介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。								
キーワード	チームマネジメント、リーダーシップ、フォロワーシップ、キャリア形成、キャリア開発、組織運営、組織管理								
テキスト・ 参考書等	人間の理解（中央法規）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	チームマネジメントの概念の理解と実践のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケーションの定義・環境・技法の知識を身につけている。								
LO-2	チームマネジメントに対し、基礎的な運営するための技術・技能を身につけている。								
LO-3	チームマネジメントを通して課題を解決するための思考力・判断力を身につけている。								
LO-4	リーダーシップを発揮するために主体的に継続的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感することができる。多様な主体と連携・協調できる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。</li> <li>・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。</li> </ul>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護サービスの特性と求められるマネジメント（介護サービスと他サービスとの相違点）	
	【予習】マネジメントについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第2回	組織と運営管理（福祉サービスの組織の機能と役割、組織の構造と管理、コンプライアンスの遵守）	
	【予習】コンプライアンスについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第3回	チーム運営の基本（チームの機能と構成、リーダーシップ・フォロワーシップ、リーダーの機能と役割、業務課題の発見と解決の過程）	
	【予習】リーダーシップとフォロワーシップについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第4回	人材の育成と管理（人材育成の方法系、モチベーションマネジメント）	
	【予習】モチベーションと職務満足について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第5回	ヒューマンサービスとしての介護サービス	
	【予習】介護サービスのヒューマンサービスについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第6回	介護現場で求められるチームマネジメント、介護実践におけるチームマネジメントの取り組み	
	【予習】多職種連携について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第7回	ケアを展開するために必要なチームとその取り組み	
	【予習】介護現場での考えられる職種について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第8回	チームでケアを展開するためのマネジメント	
	【予習】多職種の職種と役割について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第9回	チームの力を最大化するためのマネジメント	
	【予習】リーダーシップの種類について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第10回	介護福祉職のキャリアと求められる実践力	
	【予習】キャリアの定義について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

第11回	介護福祉職としてのキャリアデザイン	
	【予習】自己啓発について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第12回	介護福祉職のキャリア支援・開発	
	【予習】自分のキャリア・職業人生について考えてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第13回	介護サービスを支える組織の構造	
	【予習】報告・連絡・相談の機能について考えてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第14回	介護サービスを支える組織の機能と役割	
	【予習】組織の階層構造、職種・職位、組織図について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第15回	介護サービスを支える組織の管理	
	【予習】介護現場での委員会と労務管理について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	チームマネジメントの概念の理解と実践のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケー	チームマネジメントの概念の理解と実践のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケー	チームマネジメントの概念の理解と実践のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケー	チームマネジメントの概念の理解と実践のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケー	チームマネジメントの概念の理解と実践のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケー
LO-2	チームマネジメントに対し、基礎的な運営するための技術・技能を十分有する。	チームマネジメントに対し、基礎的な運営するための技術・技能を有する。	チームマネジメントに対し、基礎的な運営するための技術・技能をある程度有する。	チームマネジメントに対し、基礎的な運営するための技術・技能を多少有する。	チームマネジメントに対し、基礎的な運営するための技術・技能がない。
LO-3	チームマネジメントを通して課題を解決するための思考力・判断力を十分身につけている。	チームマネジメントを通して課題を解決するための思考力・判断力を身につけている。	チームマネジメントを通して課題を解決するための思考力・判断力をある程度身につけている。	チームマネジメントを通して課題を解決するための思考力・判断力を多少身につけている。	チームマネジメントを通して課題を解決するための思考力・判断力を身につけていない。
LO-4	リーダーシップを発揮するために主体的に継続的な自己研鑽を十分行うことができる。	リーダーシップを発揮するために主体的に継続的な自己研鑽を行うことができる。	リーダーシップを発揮するために主体的に継続的な自己研鑽をある程度行うことができる。	リーダーシップを発揮するために主体的に継続的な自己研鑽を多少行うことができる。	リーダーシップを発揮するために主体的に継続的な自己研鑽を行うことができない。
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感することができる。多様な主体と連携・協調できる健全で豊かな人間力を十分身につけてい	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感することができる。多様な主体と連携・協調できる健全で豊かな人間力を身につけている。	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感することができる。多様な主体と連携・協調できる健全で豊かな人間力をある程度身につけ	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感することができる。多様な主体と連携・協調できる健全で豊かな人間力を多少身につけてい	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感することができる。多様な主体と連携・協調できる健全で豊かな人間力を身につけていない

授業科目名	情報処理演習			科目コード	W521-31				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	日本語文書処理演習		後継科目	日本語文書処理演習					
関連科目									
資格等 取得との関連	上級ビジネス実務士( ) ビジネス実務士( ) 上級情報処理士( ) 情報処理士( ) 日商PC検定(文書作成)2級試験								
授業の概要	効果的なビジネス文書について学ぶ。前期での実践的な技能をさらにスキルアップするとともに、企業でのITを利活用できるように応用力を養う。なお、日商PC検定文書作成3級を目指す。								
学習目標	適切なビジネス文書を適切に発信していく技術は、ビジネスパーソンにとって必須であることを理解するとともに、情報を正確に伝える・記録として残すのに必要な文書作成の基本的知識・技術の習得を目標とする。								
キーワード	word、文章作成・編集、表作成、図作成、クリップアート、ワードアート、スマートアート								
テキスト・ 参考書等	よくわかるマスター 日商PC検定試験 文書作成 3級 公式テキスト&問題集 Word 2019/2016対応 (FOM出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	Word2016を利用し、目的にあった文書作成と高品質なデザインのビジネス文書作成ができる。								
LO-2									
LO-3	Wordを用いた基本的なビジネス文書を作成することができる。								
LO-4	積極的な学習態度がみられ、予習・復習をしっかりと行うことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3	10								10
LO-4	10								10
LO-5									
備考									



## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日商PC3級 文書作成とはどんな試験か	
	【予習】教科書付録「日商PC検定試験の概要」を読んでおく	20分
	【復習】教科書の「日商PC検定試験の概要」を読む	25分
第2回	ビジネス文書 文書の有用性/ビジネス文書の基本/社内文書 タッチタイピングの練習 <a href="https://toyama-c-kf.edclub.com/">https://toyama-c-kf.edclub.com/</a>	
	【予習】教科書の該当部分について復習する。 7月26日までにタッチタイピングの練習を Lesson 126 まで終了する。	20分
	【復習】教科書の該当部分について復習する。	25分
第3回	ビジネス文書 - 社外文書 基本的なビジネス文書の作成 - 作成する文書の確認 / 文章の入力	
	【予習】教科書第1章 社外文書の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第4回	学習ファイル(fpt2010.zip)ダウンロード ビジネス文書のライティング技術 - 日本語の基本 基本的なビジネス文書の作成 - 文書の編集 / 文字の配置 / 文字の装飾 / 文書の保存	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第5回	ビジネス文書のライティング技術 - 文章表現の基本 基本的なビジネス文書の作成 - 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第6回	ビジネス文書のライティング技術 - 文章表現の応用 / 文章構成 表のあるビジネス文書の作成 - 表の作成 / 表のレイアウトの変更 / 表の書式設定	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第7回	ビジネス文書のライティング技術 - 敬語 / 確認問題(P.79) ビジネス文書 - 確認問題(P.79) 表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題	25分
第8回	表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題(解説) 電子メールのライティング技術 - 電子メールの基本 / 文例とポイント / 確認問題 図形のあるビジネス文書の作成	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第9回	ビジネス図解の基本 - 図解とは / 図解の基本パターン / 図解の作成方法 / グラフの利用 / 確認問題 図形のあるビジネス文書の作成 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第10回	ビジネス文書の管理 - 文書管理の基本 / 文書のライフサイクルと各プロセスの役割 / 確認問題 模擬試験第1回 実技科目	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分

第11回	模擬試験第1回 知識科目 模擬試験第2回 実技科目	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第12回	模擬試験第2回 知識科目 模擬試験第3回 実技科目	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第13回	模擬試験第3回 知識科目 日商PC模擬試験（実技） 必要ならダウンロード: 商工会議所 ネット試験システム.exe	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】模擬試験の復習	25分
第14回	日商PC模擬試験（実技）	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】模擬試験の復習	25分
第15回	日商PC検定試験 文書作成3級解説	
	【予習】第1章から第8章・模擬試験1～3までを見直す	20分
	【復習】試験結果の反省	25分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	wordを利用した文書作成、表作成、図作成などの基本操作を確実に理解し、目的に合ったビジネス文書の作成ができる。期末の試験結果が90%以上の正答	wordを利用した文書作成、表作成、図作成などの基本操作を確実に理解し、目的に合ったビジネス文書の作成ができる。期末の試験結果が80%以上の正答	wordを利用した文書作成、表作成、図作成などの基本操作を確実に理解し、目的に合ったビジネス文書の作成ができる。期末の試験結果が70%以上の正答	wordを利用した文書作成、表作成、図作成などの基本操作を確実に理解し、期末の試験結果が60%以上の正答がある	wordを利用した文書作成、表作成、図作成などの基本操作が殆んどできない。
LO-2					
LO-3	wordを用いた基本的な文書作成の操作を理解している。学習活動では社外・社内文書の説明ができると共に、目的に応じたビジネス文書作成ができる。	wordを用いた基本的な文書作成の操作を理解している。学習活動では社外・社内文書を分けて、ビジネス文書作成ができる。	wordを用いた基本的な文書作成の操作を学ぶことが中心である。	wordを用いた基本的な文書作成の操作を最低限、学ぶことができる。	wordを用いた基本的な文書作成の操作が理解できない。
LO-4	授業は真面目で積極的に参加し、疑問点を意欲的に調査しながら課題・予習・復習をしっかりと行うことができる。	授業は真面目で積極的に参加し、毎回の課題・予習・復習を行うことができる。	授業は真面目で積極的に参加し、教えられたことは忠実に学んでいる。	授業は真面目に参加しているが、教えられたことは学んでいる。	欠席が多く、学習意欲がない。
LO-5					

授業科目名	情報処理演習			科目コード	W521-32				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活と情報		後継科目						
関連科目	医療・福祉とICT								
資格等 取得との関連									
授業の概要	効果的なデータの活用について学びます。生活と情報で学んだ表計算の基礎を発展させ、福祉施設や企業でのデータ数値の分析をできるよう応用力を養います。なお、日商PC検定データ活用3級の資格取得を目指す。								
学習目標	日商PC検定データ活用3級は、売上などの粗(RAW)データから商品や支店ごとの単純集計や、ピボットテーブルを使ったクロス集計が出題されます。本演習では、日商PC検定データ活用3級資格取得に足るデータ活用能力を身につけることを目標とします。								
キーワード	パソコン、表計算、単純集計、クロス集計、データ分析								
テキスト・ 参考書等	よくわかるマスター 日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト & 問題集 Excel 2019/2016対応 (FOM出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する応用知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 日商PC 3級の問題（文書作成・データ活用）の問題を解いてみる	
	【予習】	0分
	【復習】わからなかったところを調べてみる・難しかったところを復習する	45分
第2回	取引の仕組みと業務の流れ(1) 取引の仕組み	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第3回	取引の仕組みと業務の流れ(2) 業務の流れ	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第4回	取引の仕組みと業務の流れ(3) 取引で使用する書類	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	取引の仕組みと業務の流れ(4) 財務諸表	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第6回	業務に応じた計算・集計処理(1) 基本的な計算処理 業務で使用する計算処理	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第7回	業務に応じた計算・集計処理(2) 業務で使用する集計処理	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第8回	業務データの管理	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第9回	表の作成(1) データ入力 / 書式設定 / 表示形式	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第10回	表の作成(2) 相対参照と絶対参照 票の編集	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分

第11回	表の作成・確認問題	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	15分
	【復習】確認問題	30分
第12回	データの集計	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第13回	グラフの作成	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第14回	模擬試験（第1回）	
	【予習】	0分
	【復習】模擬試験（第2回）	45分
第15回	模擬試験（第3回）	
	【予習】	0分
	【復習】模擬試験（第1回～第3回）の復習	45分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識が十分に身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識が身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識がおおむね身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識がある程度身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につけていない
LO-2	パソコンにより、極めて効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、おおむね効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、ある程度効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、ドキュメント・スプレッドシート作成、プレゼンテーションができない
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	ボランティア演習			科目コード	W521-40				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	地域福祉論 、					
関連科目	社会保障論、高齢者福祉論、障害者福祉論								
資格等 取得との関連									
授業の概要	テキストを毎回一章ごと進めていながら、解説の後に演習をおこない、学習を深められるようにしていきます。演習では全員に意見や考えの発表を求めます。学校休業日におけるボランティア体験を、Web「ボランティア手帳」を活用し、前期末となる7月末までに1回以上参加して、感想をレポートにまとめることを課題とします。(感染症の拡大状況によっては課題を変更します)								
学習目標	ボランティア全般について学ぶとともに、ボランティア体験学習を通じて市民としての生き方について考え、現代社会の問題解決力と社会を見つめる感性を高めることをねらいとします。								
キーワード	ボランティアコーディネーター、企業の社会貢献活動、災害救援ボランティア、福祉教育、施設ボランティア								
テキスト・ 参考書等	「初めて学ぶ地域ボランティア活動」小倉常明・松藤和生 著 KT福祉研究所								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ボランティア活動の理念や法制度、社会の変化とこれまでの動き、そしてこれからのあり方などを理解するとともに、関係機関の働きや私たちがなすべきことなどについて、理解することができる。								
LO-2	ボランティア活動の場面で相手の自立支援に向けた関わり方をするための技術や技能を身につけている。								
LO-3	ボランティアとはどういう行為なのか考え、その場にふさわしい行動をとれる。また、言葉でも表現できる。								
LO-4	自ら積極的にボランティア活動に関して調べて、自分なりに思いを深めるなどの取組みができています。								
LO-5	市民社会における主体的な取り組みの意義を理解し、多様な活動に共感できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60	20		10	10		100
LO-1			40						40
LO-2				20					20
LO-3						10			10
LO-4			20						20
LO-5							10		10
備考	富山県障害者スポーツ大会の陸上競技会に毎年1年生全員で補助スタッフとして参加しています。令和4年度は5月22日(日)、富山県総合運動公園の陸上競技場で予定されています。授業2コマに読み替えます。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ボランティア活動の定義や特徴・性格などについて正しく理解する。	
	【予習】テキスト第1章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】ボランティアという言葉の意味や類似の用語の意味との違いを説明できるようにまとめる。	45分
第2回	ボランティア活動の理念について理解する。	
	【予習】テキスト第2章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】ボランティア手帳で最近のボランティア活動の傾向を調べてみる。	45分
第3回	ボランティア活動の歴史について理解する。	
	【予習】テキスト第3章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】インターネットで日本における篤志家の活動を探し、それぞれの趣旨や目的などを把握しておく。	45分
第4回	ボランティアに関する法と制度を学ぶ。	
	【予習】富山県民ボランティア総合支援センターのホームページで、県内のNPO法人の登録状況を見てくる。	45分
	【復習】ボランティア活動を支援する法と制度をまとめてみる。	45分
第5回	ボランティアの関係機関について理解する	
	【予習】テキスト第5章を読んで、住所地の社会福祉協議会についてホームページで確認する。	45分
	【復習】リスクマネジメントの大切さについてふり返しをする。	45分
第6回	障害者スポーツ大会に参加（実地体験）	
	【予習】富山県総合運動公園の場所と移動手段について調べておく。	45分
	【復習】感想をボランティア手帳に記す。	45分
第7回	障害者スポーツ大会に参加（実地体験） 2コマ分	
	【予習】プログラムと活動マニュアルに目を通してくる。	90分
	【復習】感想をボランティア手帳に記す。	90分
第8回	ボランティア活動の担い手について理解する。	
	【予習】自分の住んでいる自治体にどのような行政委嘱ボランティアがあるかを確認してくる。	45分
	【復習】行政委嘱ボランティアの長所と短所をまとめる。	45分
第9回	第7章の地域社会とボランティアについて理解する。	
	【予習】地元の社協の広報誌を読んで、どんな人や団体がどんなボランティアに参加しているかを押さえてくる。	45分
	【復習】身近な地域でのボランティア活動の様子を調べてまとめる。	45分
第10回	社会福祉施設とボランティアの関りを学ぶ	
	【予習】テキストを読んで、福祉施設におけるボランティアの存在意義や役割を理解する。	45分
	【復習】身近な施設で行われているボランティア活動を調べてまとめておく。	45分

第11回	福祉施設におけるボランティア活動プログラムを考える。	
	【予習】前回の授業をふり返ってくる。	45分
	【復習】友達の計画書と見比べて、次へのヒントを得る。	45分
第12回	特別講義をオンライン視聴してミニレポートを提出する。	
	【予習】呉羽地域について調べてくる。	45分
	【復習】講義の感想をレポートにして提出する。	45分
第13回	企業の地域貢献とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】経団連のホームページで、どの企業がどのような取組みをしているか各自で調べてくる。	45分
	【復習】企業市民活動ともCSR活動とも言われる社会貢献活動が果たす役割をまとめる。	45分
第14回	国際的なボランティア活動について学ぶ。	
	【予習】収集ボランティア活動について、各自で調べてくる。	45分
	【復習】NGO団体による収集ボランティアの様子を整理する。	45分
第15回	ボランティアコーディネートについて学ぶ。	
	【予習】ボランティアサポーターやアドバイザー制度について調べてくる。	45分
	【復習】ボランティアコーディネーターが果たす役割についてまとめてみる。	45分

### 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	各回の授業を集中して受講し、内容を正しく理解したうえで自分の学びや感想が十分書けている。	各回の授業をしっかりと受講し、内容を一定程度は理解したうえで自分の学びや感想が書けている。	各回の授業をまじめに受講し、内容を多少は理解したうえで自分の学びや感想がある程度は書けている。	各回の授業を受講してはいるが、内容の理解が十分ではなく、自分の学びや感想があまり書けていない。	各回の授業態度もよくなく、内容の理解に間違いがみられ、自分の学びや感想もほとんど書けていない。
LO-2	ボランティア活動の場面で相手の自立支援に向けた関わり方をするための技術や技能を十分に身につけている。	ボランティア活動の場面で相手の自立支援に向けた関わり方をするための技術や技能を8割程度は身につけている。	ボランティア活動の場面で相手の自立支援に向けた関わり方をするための技術や技能を7割程度は身につけている。	ボランティア活動の場面で相手の自立支援に向けた関わり方をするための技術や技能を6割程度は身につけている。	ボランティア活動の場面で相手の自立支援に向けた関わり方をするための技術や技能を6割も身につけていない。
LO-3	授業での学びや体験を活かし、与えられた課題に十分思いを表現できている。	授業での学びや体験を活かし、与えられた課題にある程度は思いを表現できている。	授業での学びや体験を活かし、与えられた課題に少しは思いを表現できている。	授業での学びや体験を活かし、与えられた課題にわずかながら思いが感じられる。	課題に対し、授業の学びや体験がほぼ反映されていない。
LO-4	自ら積極的にボランティア活動に関して調べて深めるなどの取組みが十分できている。	自ら積極的にボランティア活動に関して調べて深めるなどの取組みができている。	自ら積極的にボランティア活動に関して調べて深めるなどの取組みが少しできている。	自ら積極的にボランティア活動に関して調べて深めるなどの取組みがあまりできていない。	自ら積極的にボランティア活動に関して調べて深めるなどの取組みができていない。
LO-5	市民社会における主体的な取り組みの意義を理解し、多様な活動に十分共感できる。	市民社会における主体的な取り組みの意義を理解し、多様な活動に共感できる。	市民社会における主体的な取り組みの意義を理解し、多様な活動に少し共感できる。	市民社会における主体的な取り組みの意義を理解し、多様な活動にあまり共感できていない。	市民社会における主体的な取り組みの意義を理解し、多様な活動に共感できていない。



授業科目名	<b>教養演習</b>			科目コード	W521-50				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	総合的研究								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	担当教員ごとに少人数を割り振ってのゼミクラス方式を取り入れての学習を進める。基礎的な学習をまず合同でおこなった後、グループに分かれてそれぞれの設けたテーマでの調査をおこない、その結果をもちよっての発表会を開催する。								
学習目標	学生の自発的・主体的な学習意欲の喚起と、教員やクラスメイトとの交流によるチームワークづくり、さらには短大生として求められる基礎的な国語能力の修得など。								
キーワード	導入教育								
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	大学生としての基礎的な国語能力と調査に関する知識を習得している。								
LO-2	読み書きや聴き話し、さらには人前での発表に関する力を修得している。								
LO-3	聴く、話すの両面において、その場にふさわしい態度で演習課題に取り組める。								
LO-4	学習意欲や向上心を持ち、自主的・主体的調査研究に必要な学習態度を身につける。								
LO-5	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			150			30	20		200
LO-1			75			15	10		100
LO-2			15						15
LO-3						15			15
LO-4			30						30
LO-5			30				10		40
備考	LO-5は担当教員による、発表会までの取り組み方での評価をもとにおこなう。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス（教養演習のテーマとねらい、過去の発表の様子など）	
	【予習】	30分
	【復習】 本日の過去の教養演習の発表内容を参考にしつつ、自分の発表内容の題材について考える	60分
第2回	これまでの教養演習の成果物を通じて研究について理解する	
	【予習】	30分
	【復習】 資料	60分
第3回	これまでの教養演習の成果物を通じて研究について理解し、自分の研究のテーマを考える	
	【予習】	30分
	【復習】 資料	60分
第4回	新聞の読み方について学び、自分の興味関心のある記事を見つけ出し次回授業にて発表する	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第5回	前回の授業を受けて各自が調査した内容を発表し意見交換を行う	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第6回	各自の興味関心あるテーマについて意見交換し、各自テーマを決定する。	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第7回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第8回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第9回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第10回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】	30分
	【復習】	60分

第11回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第12回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第13回	調査結果を基にしたグループ発表	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第14回	調査結果を基にした個人発表	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第15回	グループ毎の振り返りとまとめ	
	【予習】	30分
	【復習】	60分

### 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	大学生として十分な国語能力と、調査に関する知識を十分に習得できている	大学生として十分な国語能力と、調査に関する知識を平均以上に習得できている	大学生として十分な国語能力と、調査に関する知識を少なからず習得できている	大学生として十分な国語能力と、調査に関する知識をあまり習得できていない	大学生として十分な国語能力と、調査に関する知識を全然習得できていない
LO-2	読み書き、聴き話し、そして発表に関する技能を十分に備えている。	読み書き、聴き話し、そして発表に関する技能を大学生として適切なレベルで備えている。	読み書き、聴き話し、そして発表に関する技能をある程度は備えている。	読み書き、聴き話し、そして発表に関する技能を、あまり備えていない。	読み書き、聴き話し、そして発表に関する技能が不足している。
LO-3	与えられた課題を正しく理解し、求められる水準に到達した受け答えができています。	与えられた課題を標準以上には理解し、受け答えも求める水準に近いものができています。	与えられた課題を半分近くは理解できており、受け答えも何とか判断できるまでのレベルである。	与えられた課題を少しは理解して、多少なりとも受け答えができています。	与えられた課題をほとんど理解できておらず、受け答えもまったく求めるレベルには達していない。
LO-4	学習意欲や向上心を人並み以上に持ち、自主的・主体的調査研究に携わる学習態度を十分に身につけている	学習意欲や向上心を一定程度は持ち、自主的・主体的調査研究に携わる学習態度も大学生として納得できるレベルで身につけている	学習意欲や向上心を少なからず持ち、自主的・主体的調査研究に携わる学習態度も最低限度のレベル以上に身につけている	学習意欲や向上心をあまり持たず、自主的・主体的調査研究に携わる学習態度も不十分である。	学習意欲や向上心を全然持たず、自主的・主体的調査研究に携わる学習態度も問題がある。
LO-5	担当教員やグループメンバーと良好なコミュニケーションがとれる。	担当教員やグループメンバーと一定程度は良好なコミュニケーションがとれる。	担当教員やグループメンバーとやや良好なコミュニケーションがとれる。とらうという態度が見て取れる。	担当教員やグループメンバーとあまり良好なコミュニケーションがとれない。十分にとらうしていない。	担当教員やグループメンバーとコミュニケーションがとれない。また、積極的にとらうしていない。

授業科目名	英語			科目コード	W531-10				
科目区分	教養科目 - 外国語		担当教員名	山西 宏明 デイヴィッド・ホーズリー					
実務経験	国際協力機構（JICA）やNGOでの海外駐在経験があり、それらの業務を通じて得られた知識・経験を、英語の授業で還元することを意識して指導を行う。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	キャンパス&ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連									
授業の概要	山西：英語4技能をフルに活用しながら、人の身体的な特徴、性格、感情や経験などを表現する練習を行います。福祉に関する用語の確認も行います。 Horsley：Lessons are communicative and student-centered. Students often work in pairs or groups of three. Lessons contain a textbook component and a conversation component. The conversation component is at the end of the class and								
学習目標	山西：人に関する様々な英語の「ことば」、「表現」を知ることを通じて、自発的に表現できるようになることを目標とします。 Horsley：Students will use the English they have studied to communicate and express themselves with improved intonation and blending skills.								
キーワード	語彙 文法 日常生活 福祉								
テキスト・ 参考書等	山西/Horsley: Speaking of People, by Peter Vincent, Naoko Nakazato, Alan Meadows, NAN'UN-DO Co., Ltd.								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】英語の基本的な語彙と表現を修得している。								
LO-2	【技能】短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】英文を読み、自分の考えを英語または日本語で表現することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】日常生活や福祉の分野の英語の基本的な語彙と表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】日常生活や福祉の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20				30	20	30	100
LO-1						10		10	20
LO-2		20				10			30
LO-3						10			10
LO-4							10	10	20
LO-5							10	10	20
備考	【授業担当者】前半7回は山西、後半8回はHorsleyが担当します。  【成績評価方法】 山西：								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Text Unit 1: Speaking About Yourself	
	【予習】 Dialogue1-3の音読、Practice1 and 2	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第2回	Text Unit 2: What Do You Do?	
	【予習】 Dialogue1-2の音読、Practice1, 2, 7 and 9	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第3回	Text Unit 3: What Does He Look Like?	
	【予習】 Dialogue1-2の音読、Practice1, 2 and 3	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第4回	Text Unit 4: Where Are You From?	
	【予習】 Dialogue1-3の音読、Practice1, 2 and 5	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第5回	Text Unit 5: Likes and Dislikes	
	【予習】 Dialogue1-2の音読、Practice1, 4, 5, 6 and 7	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第6回	Text Unit 6: What's She Like?	
	【予習】 Dialogue1-3の音読、Practice1, 2, 3, 5 and 6	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第7回	確認をテストを実施し、解説を行う。	
	【予習】 筆記試験に向けた学習	180分
	【復習】 筆記試験の見直し	60分
第8回	Text Unit 7: Tell Me About Your Family	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第9回	Text Unit 8: Communication	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第10回	Text Unit 9: How Are You Feeling?	
	【予習】	0分
	【復習】	60分

第11回	Review Units 7-9; Communication Quiz	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第12回	Text Unit 10: Memories	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第13回	Text Unit 11: Talking About Health	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第14回	Text Unit 12: Mindset	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第15回	Review Units 10-12; Communication Quiz	
	【予習】	0分
	【復習】	60分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	英語の基本的な語彙と表現を十分に修得している。	英語の基本的な語彙と表現を大体修得している。	英語の基本的な語彙と表現をあまり修得している。	英語の基本的な語彙と表現をあまり修得していない。	英語の基本的な語彙と表現をほとんど修得していない。
LO-2	短くて易しい英語の会話や文章をよく理解できる。	短くて易しい英語の会話や文章を大体理解できる。	短くて易しい英語の会話や文章をある程度理解できる。	短くて易しい英語の会話や文章をあまり理解できない。	短くて易しい英語の会話や文章をほとんど理解できない。
LO-3	英文を読み、自分の考えを英語または日本語で十分に表現することができる。	英文を読み、自分の考えを英語または日本語で表現することができる。	英文を読み、自分の考えを英語または日本語で表現することができる。	英文を読み、自分の考えを英語または日本語であまりよく表現することができない。	英文を読み、自分の考えを英語または日本語でほとんど表現することができない。
LO-4	日常生活や福祉の分野の英語の基本的な語彙と表現に大いに関心を持つことができる。	日常生活や福祉の分野の英語の基本的な語彙と表現に関心を持つことができる。	日常生活や福祉の分野の英語の基本的な語彙と表現にある程度関心を持つことができる。	日常生活や福祉の分野の英語の基本的な語彙と表現にあまり関心を持つことができない。	日常生活や福祉の分野の英語の基本的な語彙と表現にほとんど関心を持つことができない。
LO-5	日常生活や福祉の分野のトピックで、自由自在にコミュニケーションをはかる意欲と能力がある。	日常生活や福祉の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。	日常生活や福祉の分野のトピックで、ある程度コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。	日常生活や福祉の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力があまりない。	日常生活や福祉の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がほとんどない。